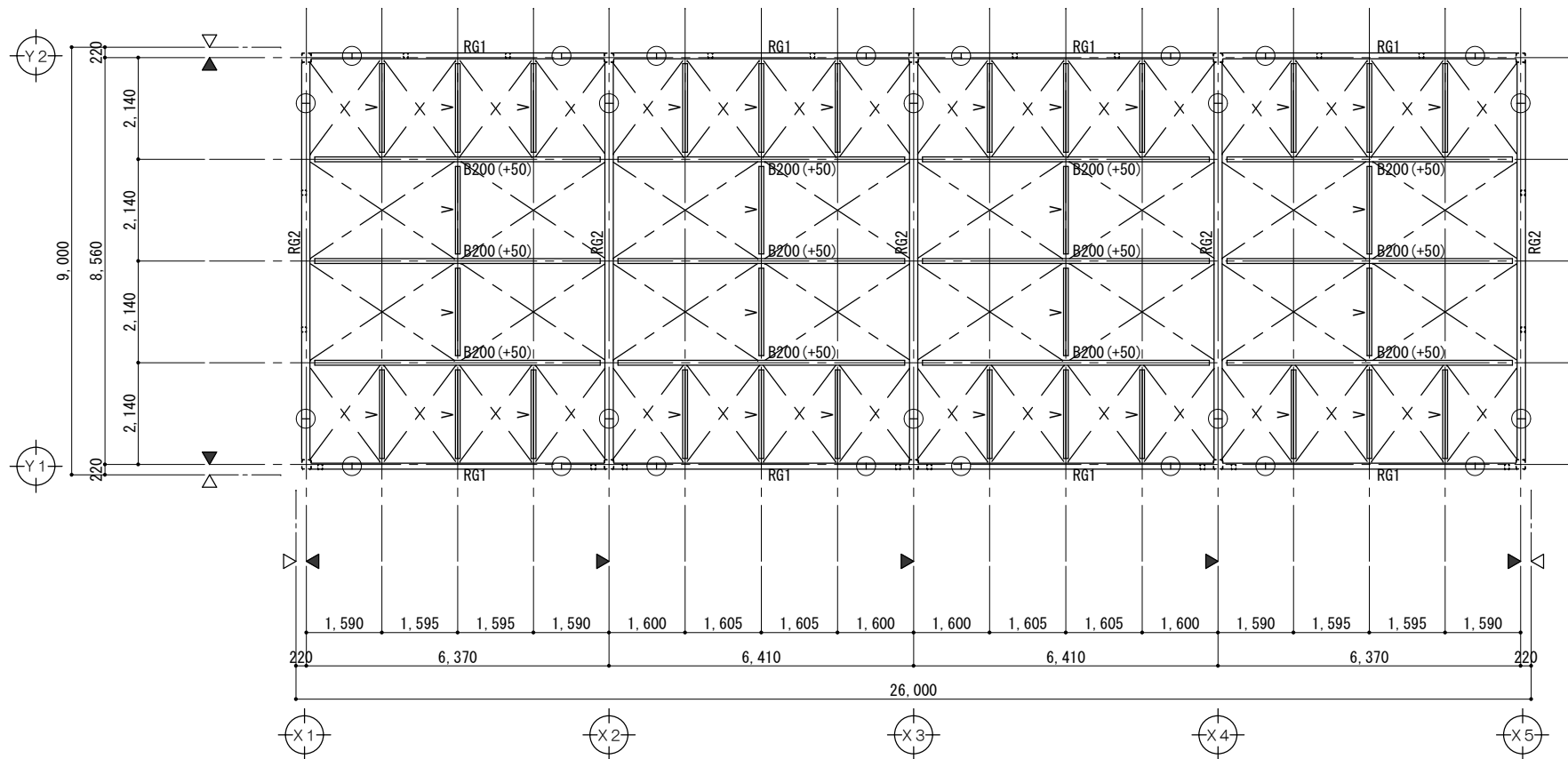




R 階 伏 図 1/100

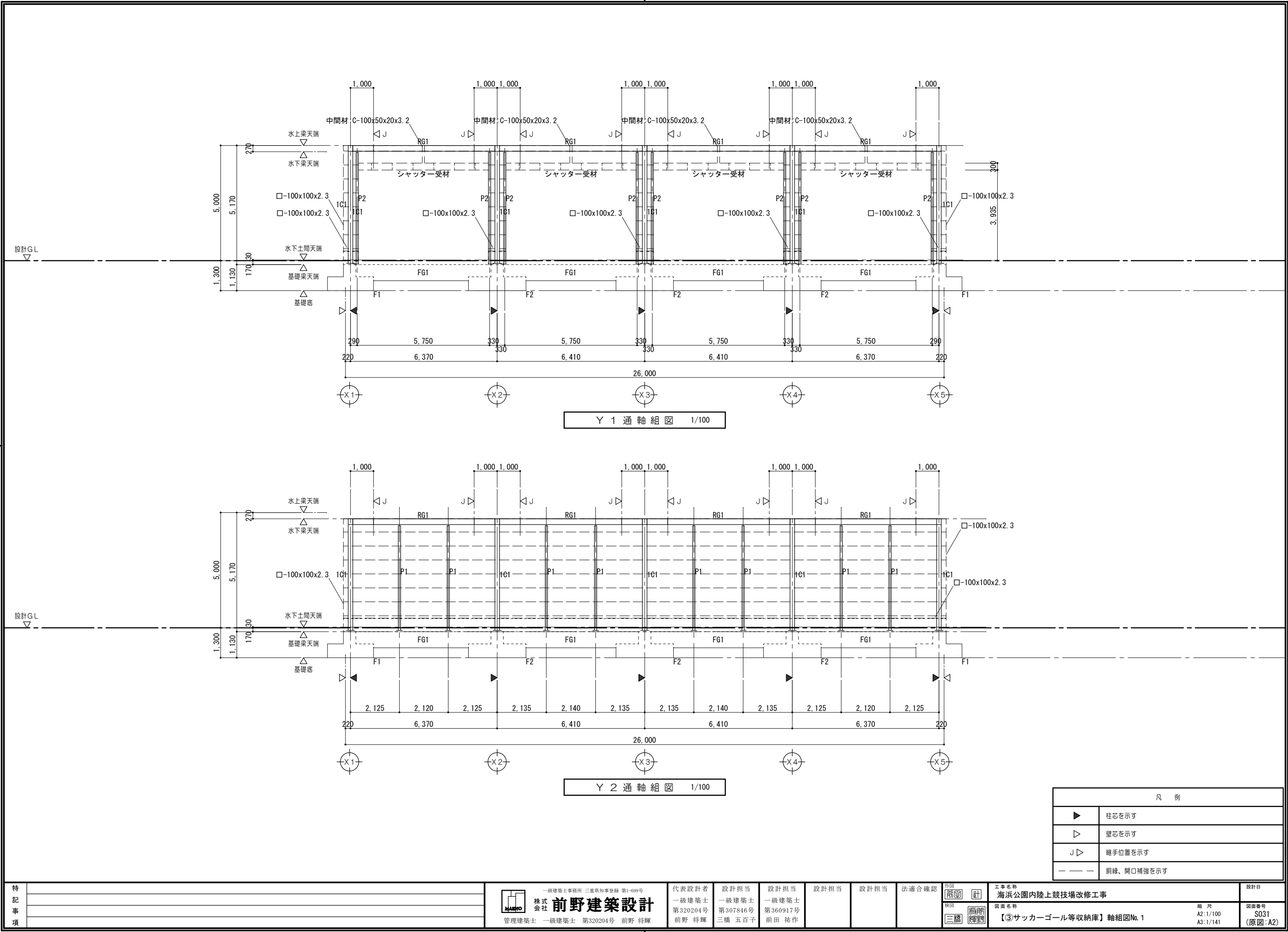
凡 例	
	柱芯を示す
	壁芯を示す
	継手位置を示す
	水平ブレースを示す
XXX (000)	一般梁天端からの高さを示す 特記なき場合、一般梁天端+0とする

大 梁 リ ス ト		使用材料 H形鋼：SS400					
符 号	部 材	継手・端部接合部					備 考
		R (厚×幅、高さ×長さ)		HTB	TYPE	Pc	
RG1	H-250x125x6x9	F	2R-12x125x410	24-M16 L=55	B	75	
		W	2R- 6x170x290	8-M16 L=50	B	90	
RG2	H-244x175x7x11	F	2R- 9x175x410 4R- 9x 70x410	24-M16 L=60	C	105	
		W	2R- 9x170x290	8-M16 L=55	C	90	

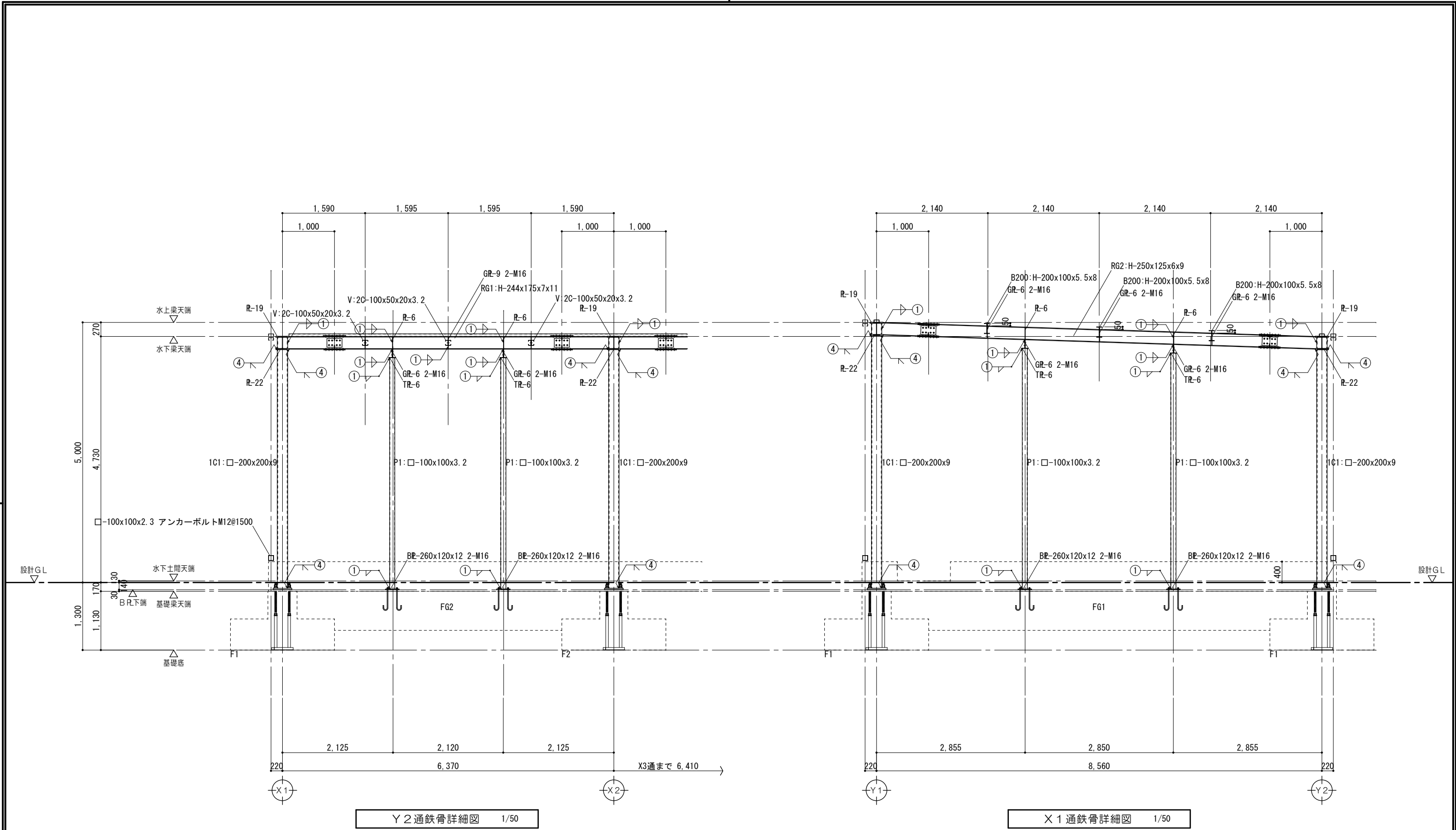
小 梁 ・ 雑 部 材 リ ス ト		使用材料 H形鋼：SS400、軽量形鋼：SSC400 角型鋼管：STKR400					
符 号	部 材	継手・端部接合部				備 考	
		R (厚×幅、高さ×長さ)		HTB	TYPE		
P1	□-100x100x3. 2	GR-6		2-M16 L=40	N	60	柱頭
		BR-260x120x12		2-M16 L=400			柱脚 アンカーボルトSS400
P2	□-100x100x4. 5	GR-6		2-M16 L=40	N	60	柱頭
		BR-260x120x16		2-M16 L=400			柱脚 アンカーボルトSS400
B200	H-200x100x5. 5x8	GR-6		2-M20 L=50	J	60	
V	2C-100x50x20x3. 2	GR-9		2-M20 L=55	K	60	
銅縁	C-100x50x20x2. 3	GR-4. 5		2-M12 L=35	K	50	@606 中ボルト
ヨコ開口補強1	C-100x50x20x3. 2	GR-6		2-M12 L=35	K	50	中ボルト
タテ開口補強1	C-100x50x20x3. 2	GR-6		2-M12 L=35	K	50	中ボルト
シャッター受材	上弦材 □-100x100x4. 5	GR-6		2-M16 L=40			上下弦材芯間距離H250 腹材ピッチ@900
	下弦材 □-100x100x4. 5						
	腹 材 C-100x50x20x3. 2						
水平ブレース	1-M16	GR-9		2-M16 L=40			JIS規格品

柱 リ ス ト 1/100

使用材料	角型鋼管：BCR295
符 号	1C1
断 面	
部 材	□-200x200x9
細 長 比 (最大値)	$\lambda x=81. 3$ $\lambda y=80. 0$
備 考	
柱 脚	
ベースプレート	R-360x360x28
アンカーボルト	4-M30
備 考	ベースバック 20-09V



凡 例	
▶	柱芯を示す
▷	壁芯を示す
J▷	継手位置を示す
— — —	胴縁、開口補強を示す



Y 2 通鉄骨詳細図 1/50

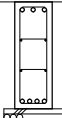
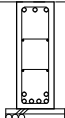
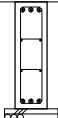
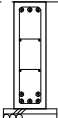
X 1 通鉄骨詳細図 1/50

凡 例	
▶	柱芯を示す
▷	壁芯を示す
J▷	継手位置を示す

特 記 事 項					一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 MAINO 株式 会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図 前野 設計	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事	設計日
				縮 尺 A2:1/50 A3:1/71			図面番号 S033 (原図:A2)							

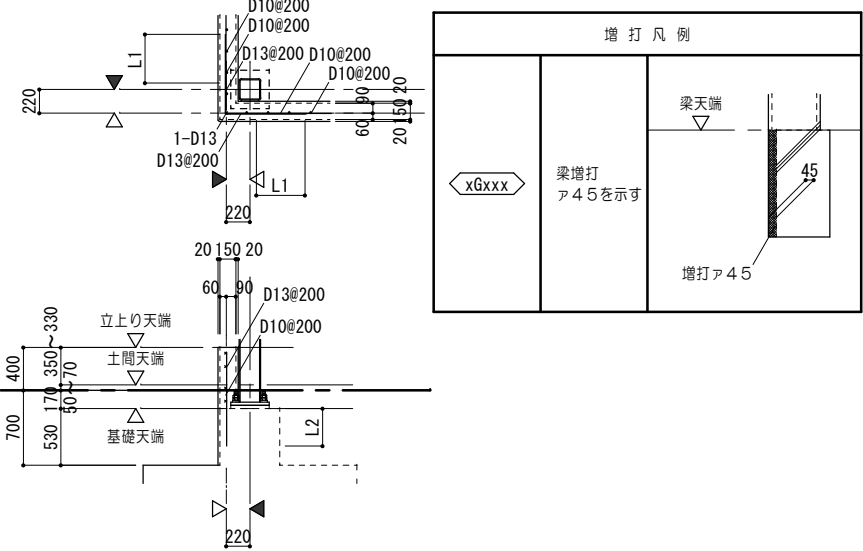
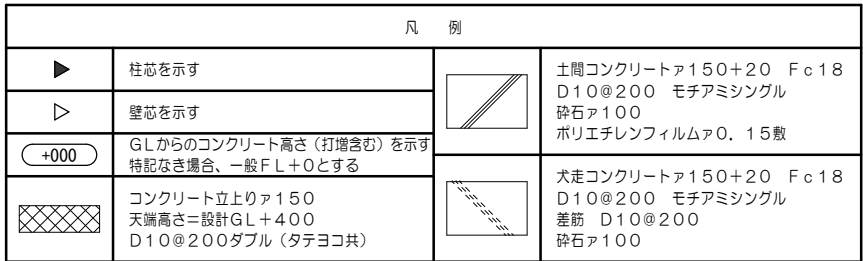


基礎梁リスト 1/100

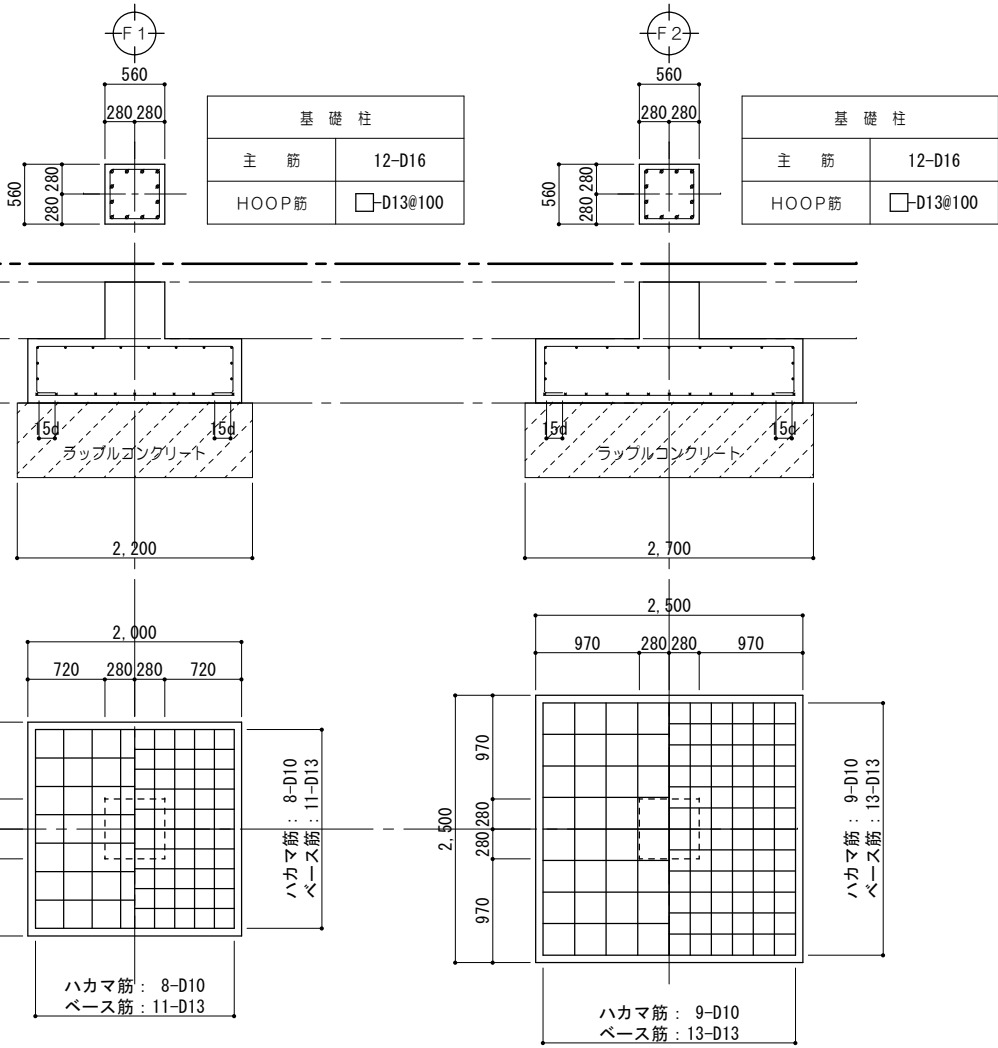
符 号		FG 1	FG 2		FG 3	
B × D		300 × 750	350 × 1000		300 × 1000	
位 置		全 断 面	端 部	中 央	端 部	中 央
 主断面						
主 筋	上 端 筋	3-D22	3-D22	3-D22	3-D25	3-D25
	下 端 筋	3-D22	4-D22	2-D22 4-D22	3-D25	2-D25 3-D25
S T P		□-D10@200	□-D10@200		□-D10@200	
腹 筋		2-D10	4-D10		4-D10	
巾止×筋		D10@1000	D10@1000		D10@1000	

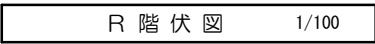
基礎小梁リスト 1/100

符 号		FB 1	FB 2
B × D		300 × 700	250 × 500
位 置		全 断 面	全 断 面
 設計 GL 断面図			
主 筋	上 端 筋	3-D22	2-D16
	下 端 筋	3-D22	2-D16
S T P		 -D10@200	 -D10@200
腹 筋		2-D10	
巾止×筋		D10@1000	



柱廻り立上詳細図 1/50

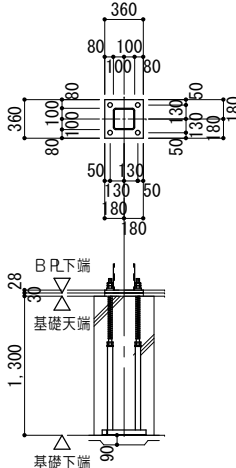


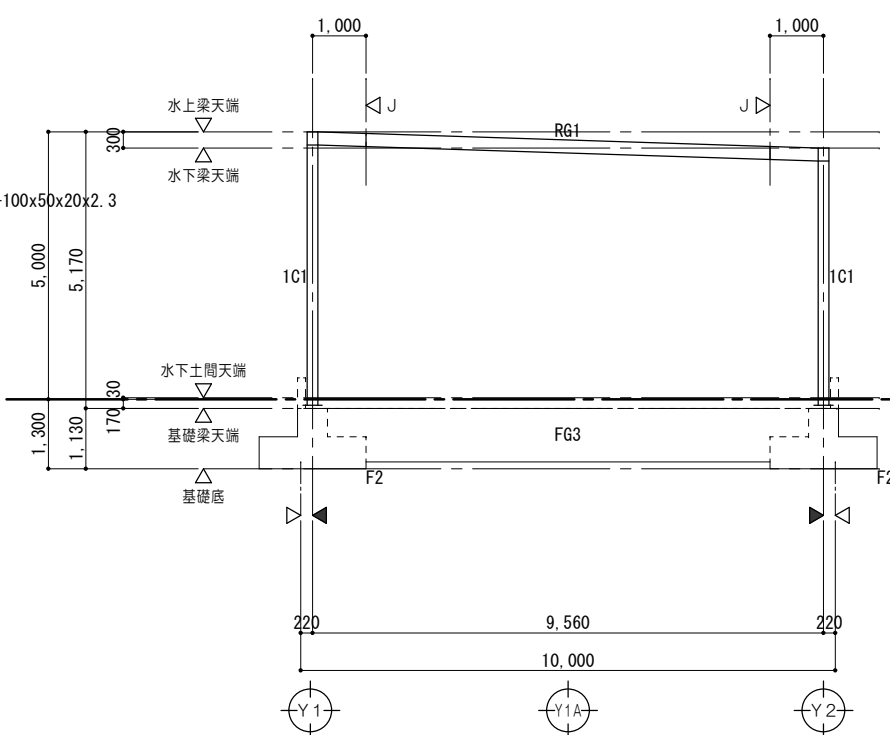
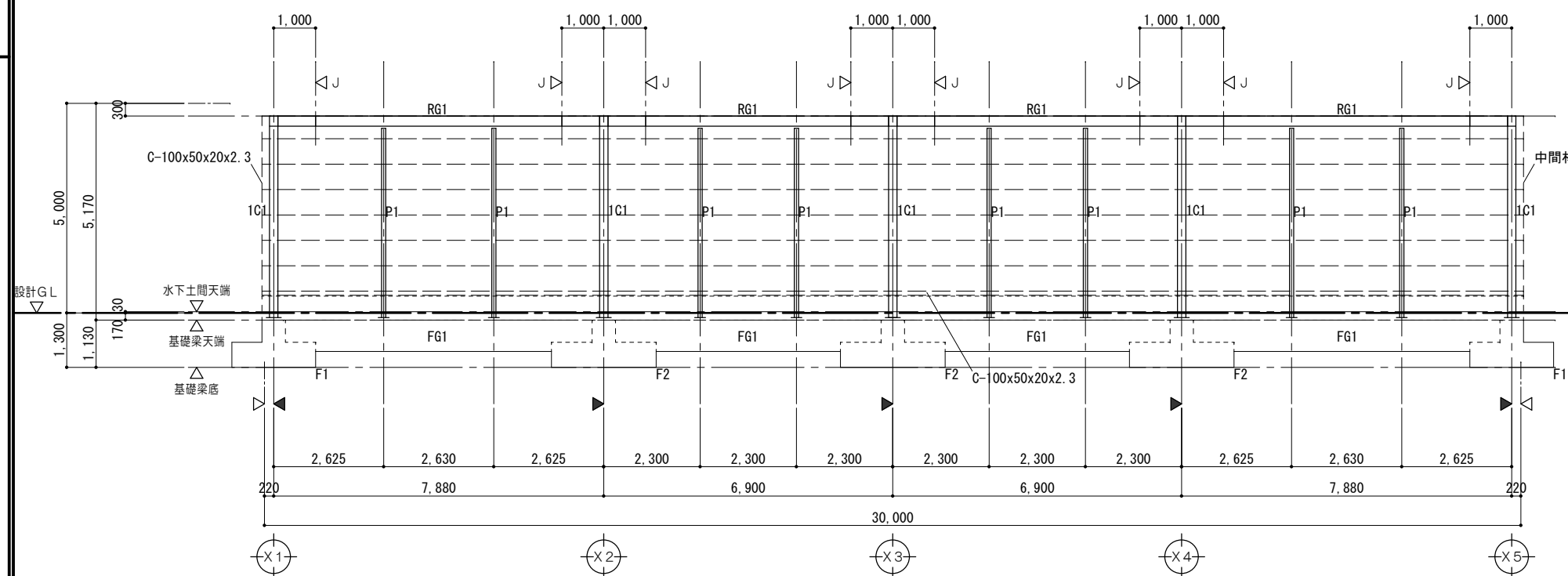
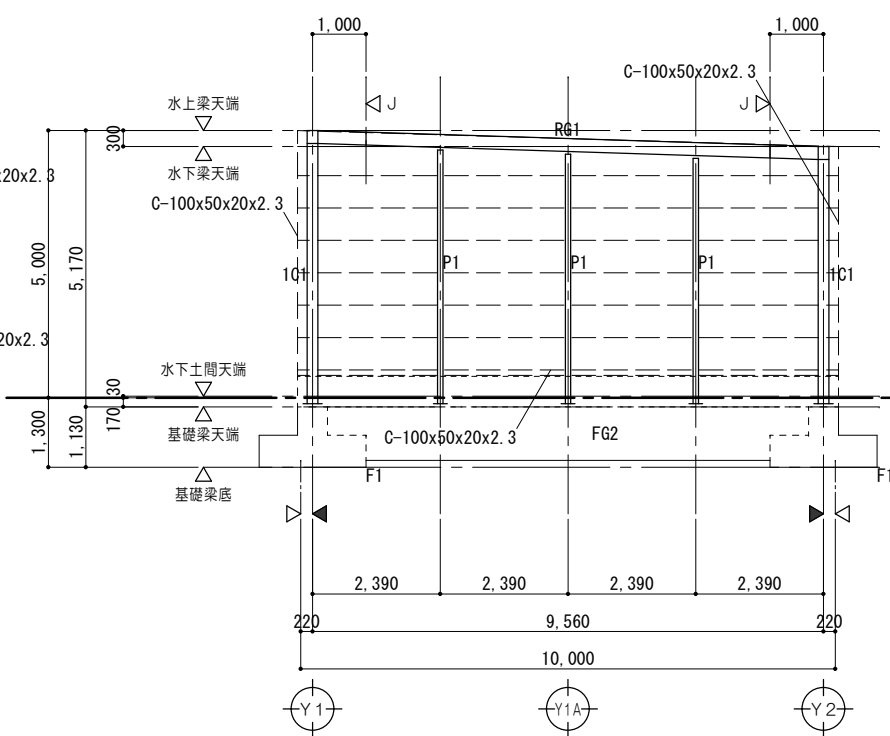
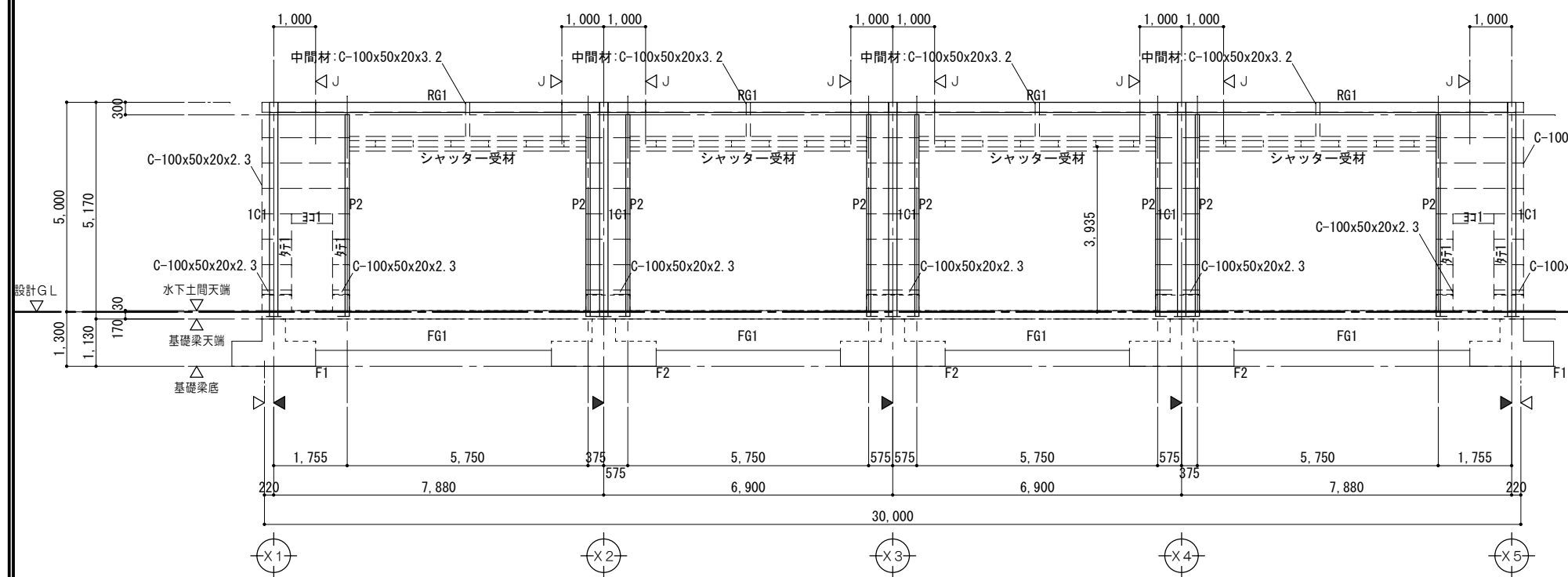


小 梁 リ ス ト			使用材料	H形鋼：SS４００、軽量形鋼：SSC４００ 角型鋼管：STKR４００			
符 号	部 材		継手・端部接合部				備 考
			凡 (厚×幅、高さ×長さ)	HTB	TYPE	Pc	
P1	□-100x100x3.2		GE-6	2-M16 L=40	N	60	柱頭
			BE-260x120x12	2-M16 L=400			柱脚 アンカーボルトSS４００
P2	□-100x100x4.5		GE-6	2-M12 L=140	N	60	柱頭 中ボルト
			BE-260x120x16	2-M16 L=400			柱脚 アンカーボルトSS４００
B200	H-200x100x5.5x8		GE-6	2-M20 L=50	J	60	
V	2C-100x50x20x3.2		GE-9	2-M20 L=55	K	60	
胴縁	C-100x50x20x2.3		GE-4.5	2-M12 L=35	K	50	@606 中ボルト
ヨコ開口補強1	C-100x50x20x3.2		GE-6	2-M12 L=35	K	50	中ボルト
タテ開口補強1	C-100x50x20x3.2		GE-6	2-M12 L=35	K	50	中ボルト
シャッター受材	上弦材	□-100x100x4.5	GE-6	2-M16 L=40			腹材ピッチ@900
	下弦材	□-100x100x4.5					
	腹 材	C-100x50x20x3.2					
水平ブレース	1-M16		GE-9	2-M16 L=40			JIS規格品

凡 例	
	柱芯を示す
	壁芯を示す
	継手位置を示す 特記なき限り柱芯より1000mmとする
— — —	水平ブレースを示す
XXX (000)	一般梁天端からの高さを示す 特記なき場合、一般梁天端+0とする

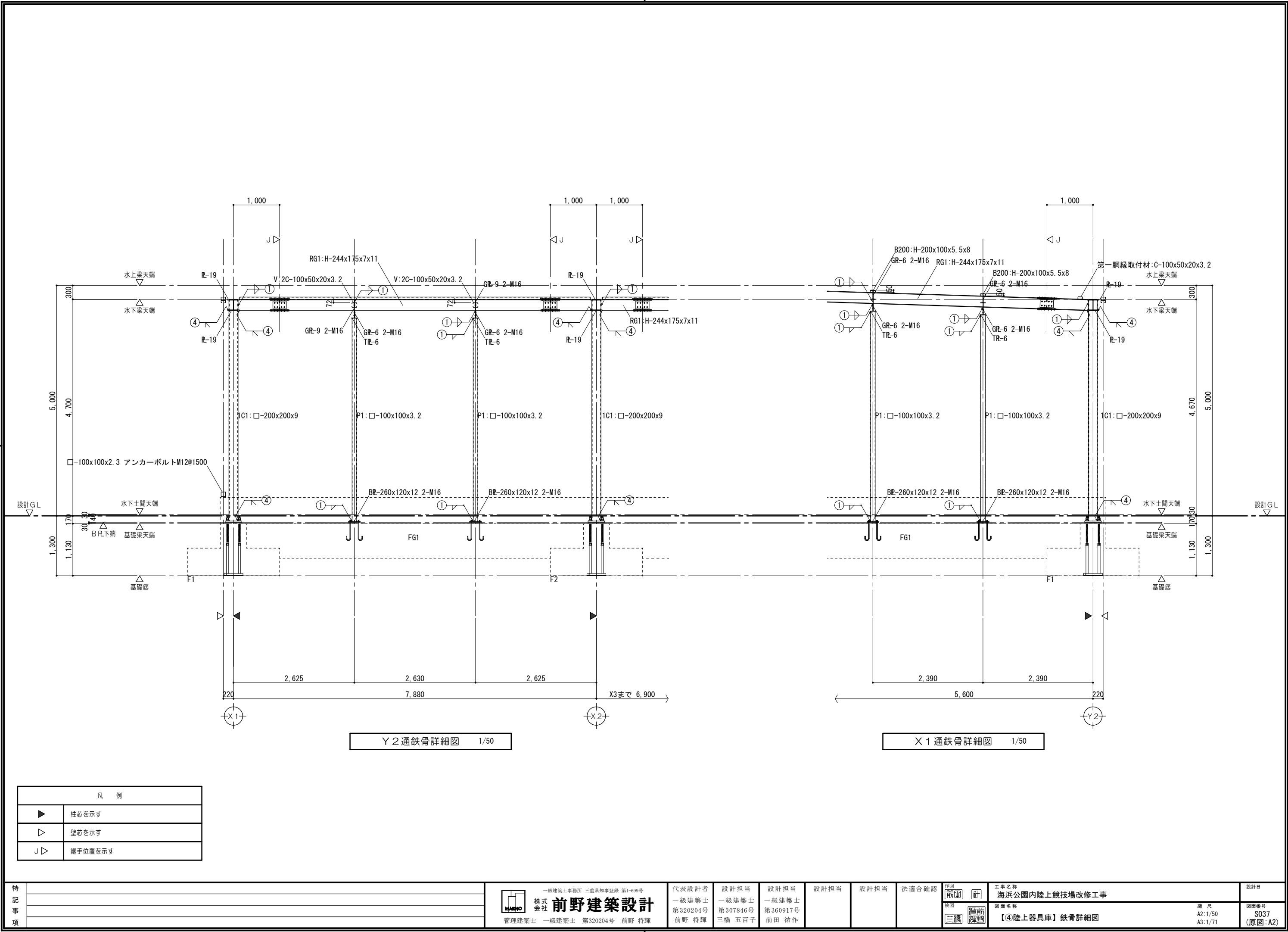
柱 リ ス ト 1/50

符 号	1C1
断 面	
部 材	□-200x200x9
細 長 比 (最大値)	$\lambda x=75.8$ $\lambda y=77.5$
備 考	
柱 脚	
ベースプレート	R-360x360x28
アンカーボルト	4-M30
備 考	ベースバック 20-O9V



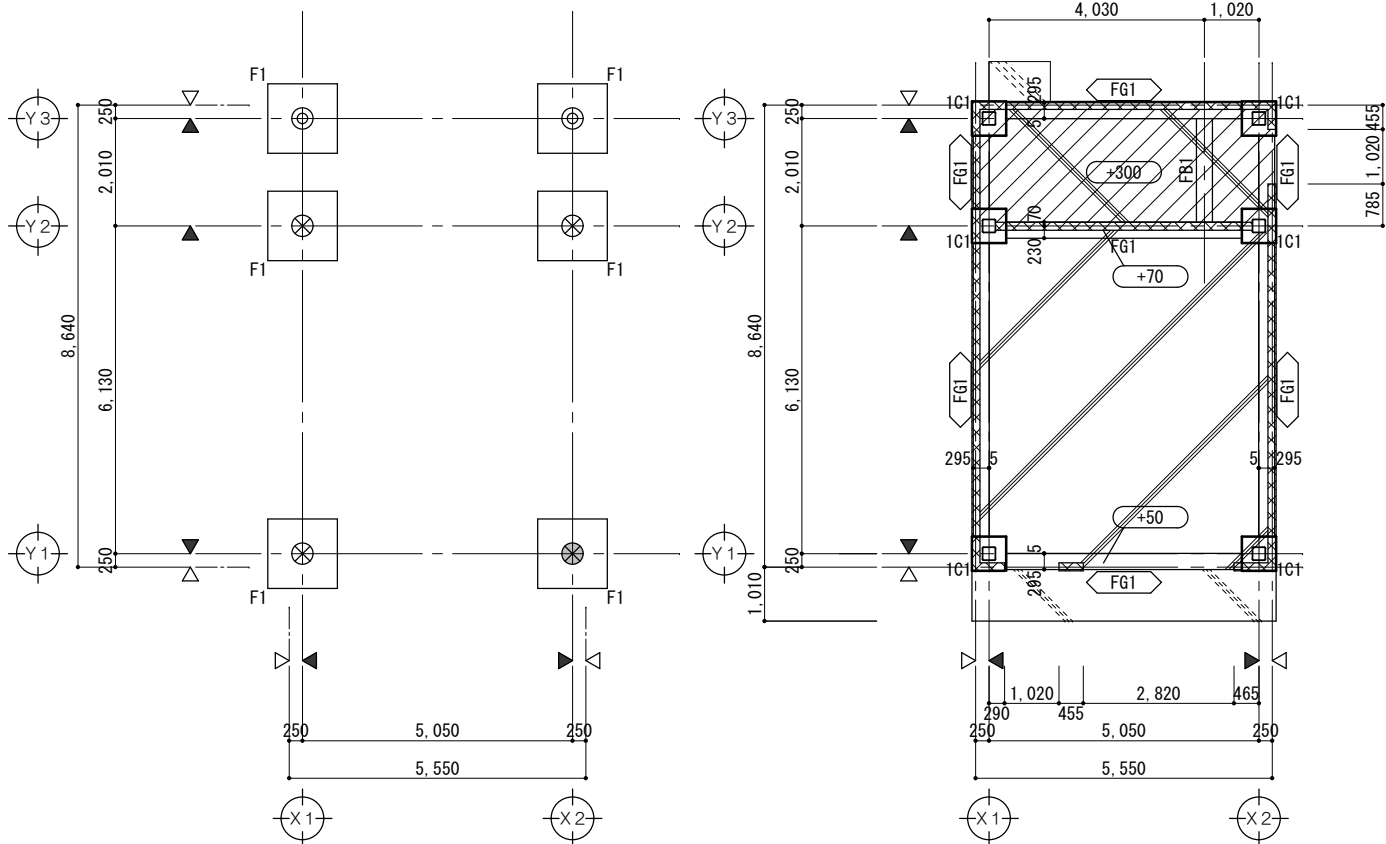
凡 例	
	柱芯を示す
	壁芯を示す
J 	継手位置を示す
— — — —	胴縁、開口補強を示す

[illegible]

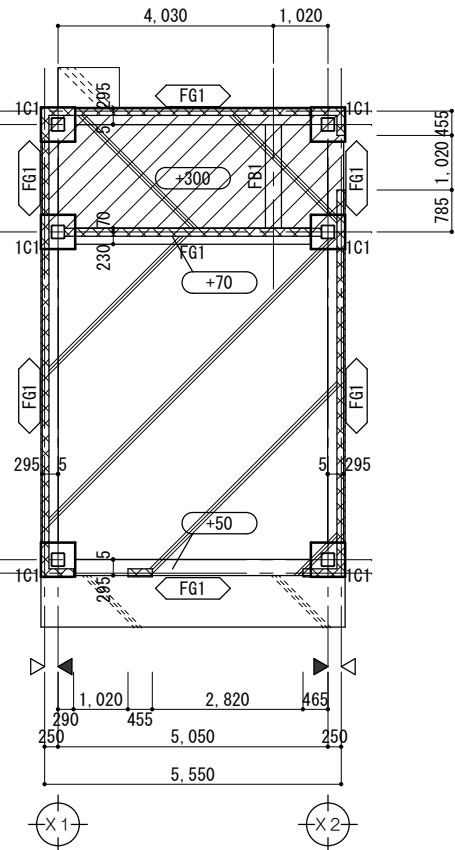


凡 例	
▶	柱芯を示す
▷	壁芯を示す
J▷	継手位置を示す

特 記 事 項						MAINO 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	設計担当	法適合確認	作図  繪図  三橋 五百子 監理  前田 祐作	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事	設計日
	図面名称 【4陸上器具庫】鉄骨詳細図		縮 尺 A2:1/50 A3:1/71	図面番号 S037 (原図:A2)											

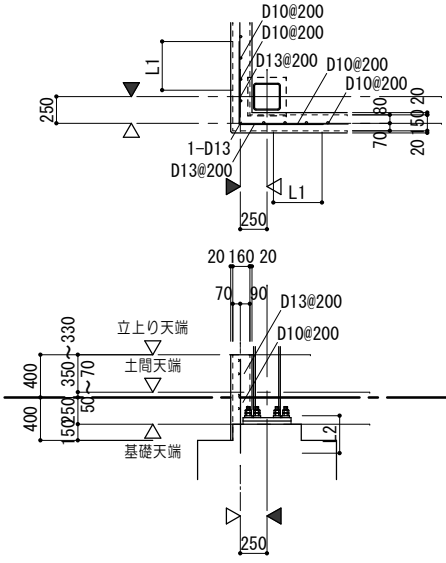


杭・基礎伏図 1/100

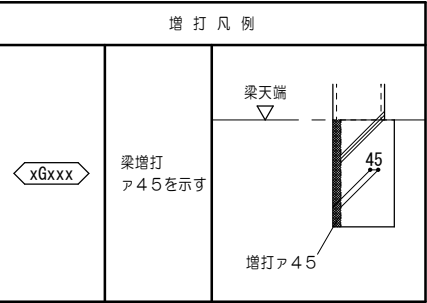


基礎梁伏図 1/100

凡 例					
▶	柱芯を示す	⊗	P2: φ400 L=35m 上杭 : PHC杭 B種 8m 中杭1: PHC杭 A種 9m 中杭1: PHC杭 A種 9m 下杭 : PHC杭 A種 9m プレボーリング拡大根固め工法 (各係数は特記による) 杭支持力 1000kN/本(長期) 2000kN/本(短期) 杭引抜き 600kN/本(短期) 継手 機械式継手 杭頭接合部 スタッド溶接: 8-D16 支持層 土質柱状図による 許容施工誤差±150mm		コンクリート立上りA150 天端高さ=設計GL+400 D10@200シングル(タテヨコ共)
▷	壁芯を示す				土間コンクリートA150+20 Fc18 D10@200 モチアミシングル 砕石A100 ポリエチレンフィルムA0.15敷
⊗	試験杭位置を示す				土間コンクリートA150 Fc18 D10@200 モチアミシングル 砕石A100 ポリエチレンフィルムA0.15敷
◎	P1: φ400 L=35m 上杭 : PHC杭 A種 8m 中杭1: PHC杭 A種 9m 中杭1: PHC杭 A種 9m 下杭 : PHC杭 A種 9m プレボーリング拡大根固め工法 (各係数は特記による) 杭支持力 1000kN/本(長期) 2000kN/本(短期) 杭引抜き 600kN/本(短期) 継手 機械式継手 杭頭接合部 スタッド溶接: 8-D16 支持層 土質柱状図による 許容施工誤差±150mm	⊗	+000		大走コンクリートA150+20 Fc18 D10@200 モチアミシングル 差筋 D10@200 砕石A100



柱廻り立上詳細図 1/50



基礎詳細図 1/50

基礎梁リスト 1/50

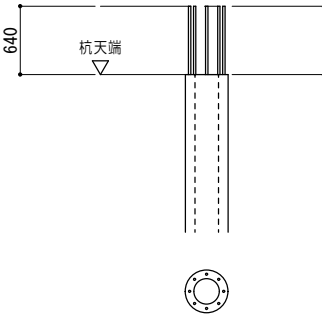
符 号		FG1
B × D		300×600
位 置		全断面
断面図		
主 筋	上 端 筋	3-D22
	下 端 筋	3-D22
S T P		□-D10@200
腹 筋		2-D10
巾止×筋		D10@1000

基礎小梁リスト 1/50

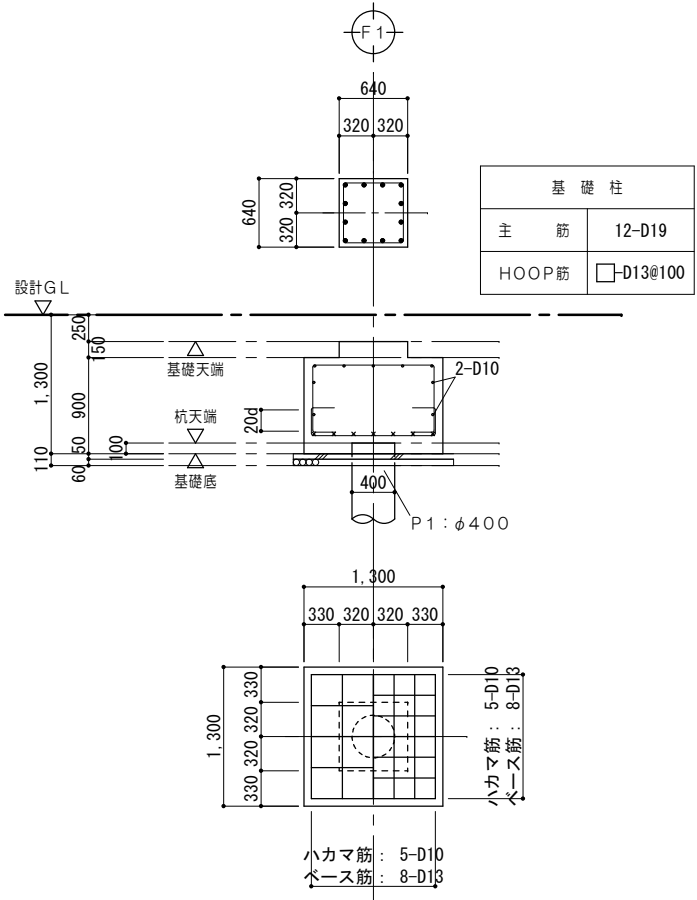
符 号		FB1
B × D		300×600
位 置		全断面
断面図		
主 筋	上 端 筋	3-D16
	下 端 筋	3-D16
S T P		□-D10@200
腹 筋		2-D10
巾止×筋		D10@1000

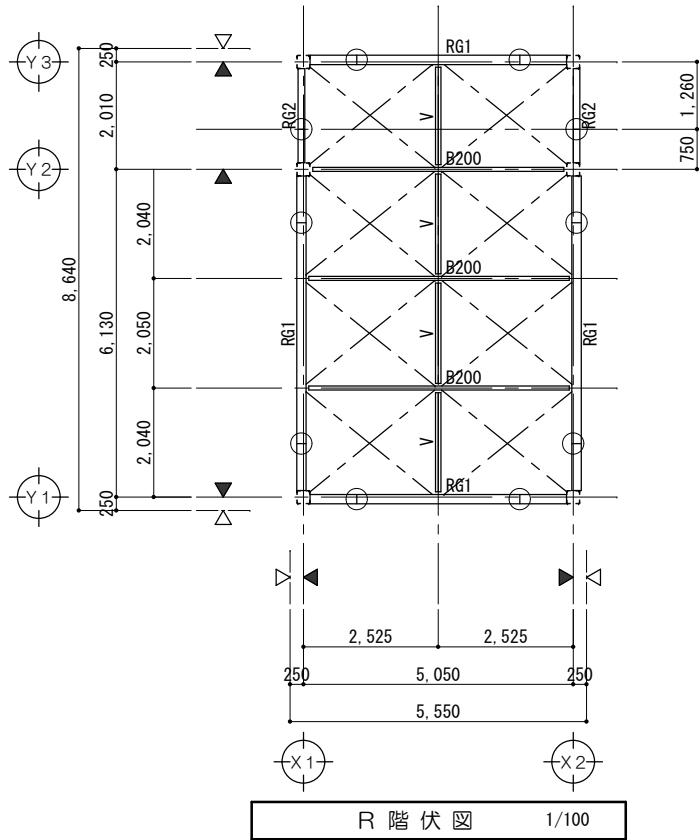
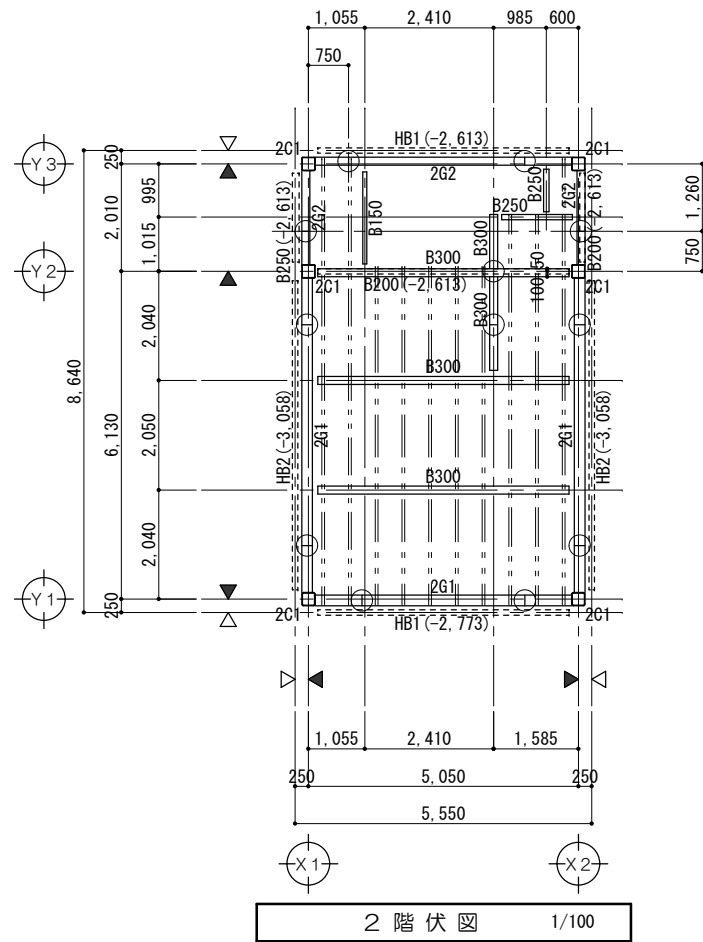
杭頭補強筋詳細図 1/50

杭符号	杭サイズ	L	主筋径	主筋本数	主筋材種
	外径				
P1	400	40d	D16	8	KSW490
P2	400	40d	D16	8	KSW490



P1





凡 例	
▶	柱芯を示す
▷	壁芯を示す
○	継手位置を示す 特記なき限り柱芯より1000mmとする
⊕	小梁基端剛接合を示す
---	水平ブレースを示す
	合成スラブ デッキ：QL-99-50-12 同等品 コンクリート：80 Fc24 溶接金網 φ6-150×150 焼抜き柱溶接 @600 ※ 原則として連続梁とする
XXX (000)	一般梁天端からの高さを示す 特記なき場合、一般梁天端+0とする

大 梁 リ ス ト		使用材料		H形鋼：SN400B			
符 号	部 材	継手・端部接合部				備 考	
		ℓ (厚×幅、高さ×長さ)		HTB	TYPE		Pc
RG1	H-194x150x6x9	F	2ℓ- 9x150x290 4ℓ- 9x 60x290	16-M16 L=55	C	60	
		W	2ℓ- 6x140x230	4-M16 L=50			
RG2	H-200x100x5. 5x8	F	2ℓ-16x100x290	16-M16 L=55	C	60	
		W	2ℓ- 6x140x170	4-M16 L=50			
2G1	H-294x200x8x12	F	2ℓ- 9x200x410 4ℓ- 9x 80x410	24-M20 L=65	C	60	
		W	2ℓ- 9x200x170	6-M20 L=65			
2G2	H-300x150x6. 5x9	F	2ℓ- 9x150x290 4ℓ- 9x 60x290	16-M20 L=65	C	60	
		W	2ℓ- 9x200x170	4-M20 L=60			

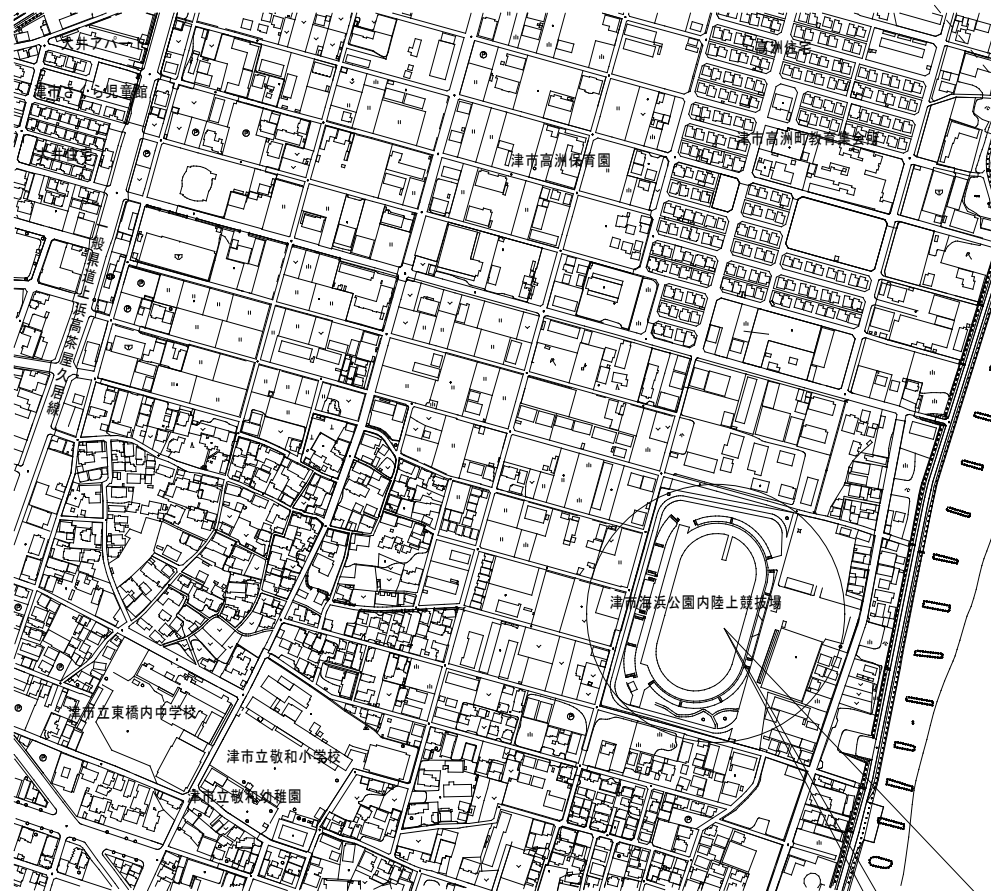
小 梁 ・ 雑 部 材 リ ス ト		使用材料		H形鋼：SS400、軽量形鋼：SSC400 角型鋼管：STKR400			
符 号	部 材	継手・端部接合部				備 考	
		ℓ (厚×幅、高さ×長さ)	HTB	TYPE	Pc		
B300	H-300x150x6. 5x 9	GR-9	3-M16 L=50	J	60	片持ち梁基端	
		基端溶接					
		F	2ℓ- 9x150x290 4ℓ- 9x 60x290	16-M20 L=65	C	60	片持ち梁中間継手
		W	2ℓ- 9x200x170	4-M20 L=60			
B250	H-250x125x6 x 9	GR-6	2-M16 L=45	J	90		
B200	H-200x100x5. 5x 8	GR-6	2-M20 L=45	J	60		
B150	H-150x 75x5 x 7	GR-6	2-M16 L=45	J	60		
V	2C-100x50x20x3. 2	GR-9	2-M16 L=50	J	90	部材芯=大梁芯	
HB1	□-200x100x6	GR-9	2-M20 L=50	M	60	鉛直方向強軸	
弱縁	C-100x50x20x2. 3	GR-4. 5	2-M12 L=35	J	50	@606 接合部：中ボルト	
ヨコ開口補強1	□-150x100x4. 5	GR-6	2-M12 L=140	J	50	鉛直方向強軸 接合部：中ボルト	
ヨコ開口補強2	C-100x50x20x2. 3	GR-4. 5	2-M12 L=35	K	50	接合部：中ボルト	
タテ開口補強1	□-100x100x2. 3	GR-6	2-M12 L=140	J	50	鉛直方向強軸 接合部：中ボルト	
タテ開口補強2	C-100x50x20x2. 3	GR-6	2-M12 L=35	K	50	接合部：中ボルト	
ササラ桁	ℓ-300×16	GR-9	2-M20 L=55		90		
段床	ℓ-6	基端溶接					
水平ブレース	1-M16	GR-9	2-M16 L=40	K	60	J I S規格品	

柱 リ ス ト		1/50
角型鋼管：BCR295		
符 号	2C1	
断 面		
部 材	□-250x250x9	
細 長 比 (最大値)	λ x=93. 8 λ y=66. 0	
備 考		
符 号	1C1	
断 面		
部 材	□-250x250x12	
細 長 比 (最大値)	λ x=107. 9 λ y= 85. 9	
備 考		
柱 脚		
ベースプレート	ℓ-450x450x32	
アンカーボルト	8-M33	
備 考	ベースバック 25-16V 特C	

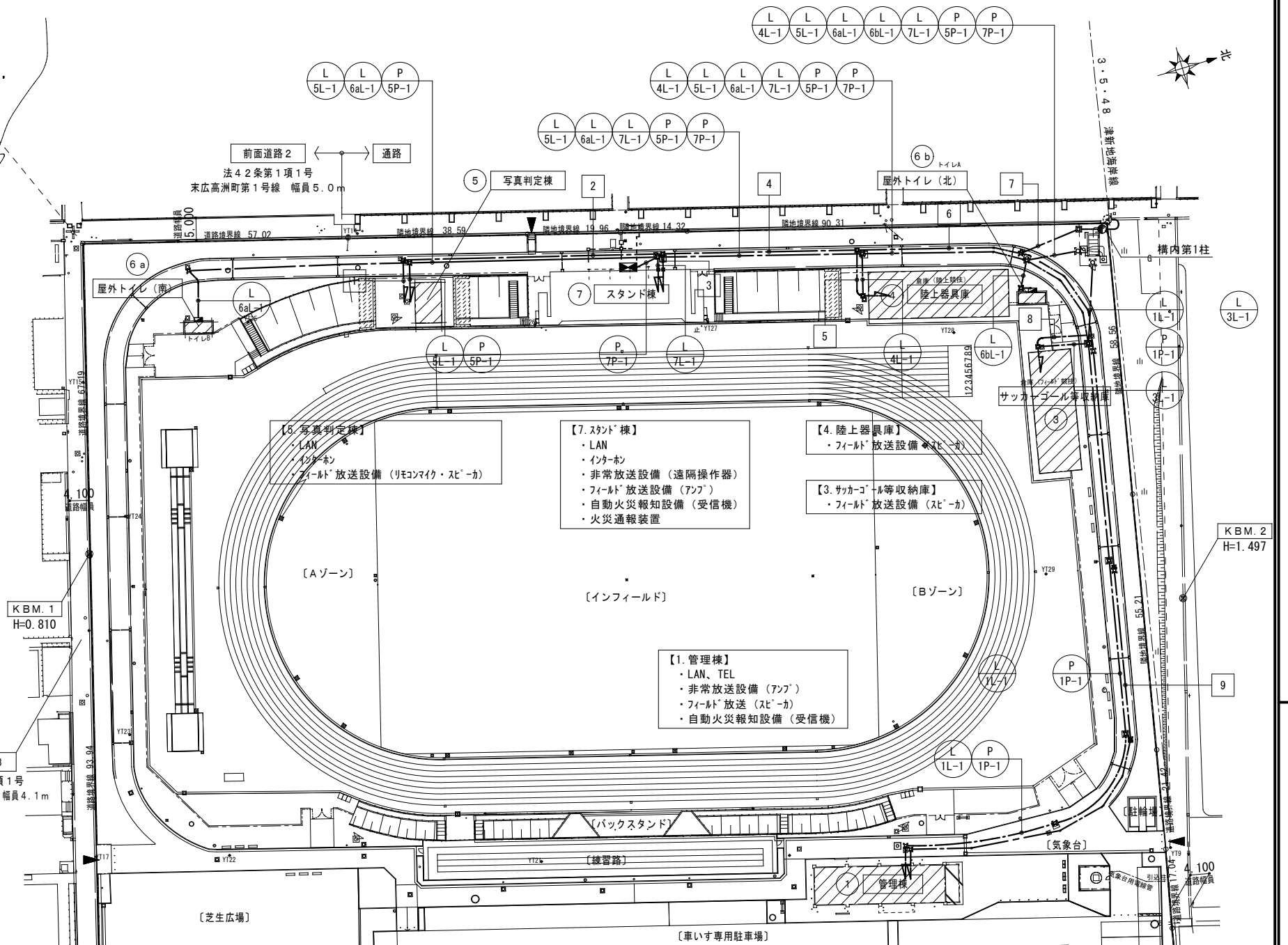
電気設備工事特記仕様書									
Ⅰ. 工事概要									
1. 工事名称		海浜公園内陸上競技場改修工事							
2. 工事場所		津市 末広町 地内							
3. 建物概要		1.管理棟 RC造 2階建 延べ面積 448.00㎡ 用途区分(Ⅰ)項0							
		3.サカ-ゴ-ル等収納庫 S造 平屋建 延べ面積 234.00㎡ 用途区分(Ⅳ)項							
		4.陸上器具庫 S造 平屋階建 延べ面積 300.00㎡ 用途区分(Ⅳ)項							
		5.写真判定棟 S造 2階建 延べ面積 95.90㎡ 用途区分(Ⅴ)項							
		6a・6b.屋外トイレ RC造 平屋建 延べ面積 12.67㎡ 用途区分(※)項							
		7.スタンド 棟 RC造 2階建 延べ面積 568.26㎡ 用途区分(Ⅰ)項Ⅰ							
		用途区分は消防法施行令別表第一による表記							
Ⅳ. 工事項目									
下記において●印を付した工事を対象とする。									
●電力設備 ●受変電設備 ●電力貯蔵設備 ●発電設備									
●通信・情報設備 ●中央監視制御設備 ●医療関係設備									
●構内配電線路 ●構内通信線路 ●その他									
Ⅱ. 共通仕様									
図面及び特記仕様書に記載されていない事項については下記による。									
・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修									
「公共建築工事標準仕様書」(建築工事編・電気(機械)設備工事編 各令和4年版)									
「公共建築改修工事標準仕様書」(建築工事編・電気(機械)設備工事編 各令和4年版)									
「公共建築設備工事標準図」(電気設備工事編・機械設備工事編 各令和4年版)									
・電気設備に関する技術基準を定める省令(電気設備技術基準)									
・電気工事業の業務の適正化に関する法律									
・電気工事法									
・労働安全衛生法									
・消防関連法規(条例・所轄署指導要領を含む。)									
・電力会社供給約款									
・その他関連法令、関連諸基準									
Ⅲ. 一般共通事項									
下記の該当する項目を適用する。また、選択する事項は、●印のついたものを適用する。									
1. 一般事項									
(1)工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各施工基準に準拠し監督員指示の下に入念かつ誠実に施工すること。									
(2)設計図書に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び疑義、設計図書のとおりに施工することで将来不具合が発生しうると予想される場合については、その都度、監督員と協議すること。									
なお、設計図書のとりの施工であっても使用上の不具合が発生した場合は、協議のうえ改善策を講じること。									
(3)他工事との取合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。調整不足による意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は、監督員の指示により手直し施工を行うこと。									
2. 足場									
設置する足場について、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省平成21年4月)」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2)手すり据置き型方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。									
内部足場の種別(参考) ●脚立 ●棚足場 ●その他()									
外部足場の種別(参考) ●手摺先行据置枠組本足場 ●移動足場 ●高所作業車 ●その他()									
外部足場設置範囲(参考) ●外部改修部 ●設備改修部 ●昇降用 ●転落防止用防護シート等による養生 ●適用する ●適用しない									
・足場の組立て後、足場に関し十分な知識と経験を有する者により点検を行い記録を保存すること。									
つり足場、張出し足場又は高さが10m以上の足場で、組立から解体までの期間が60日以上のものについては、組立て後市監督員立ち合いの下、当該足場の組立てを担当した者以外の足場に関し十分な知識と経験を有する者により点検を行うこと。									
なお、「十分な知識と経験を有する者」とは、以下の者とする。									
1) 足場の組立て等作業主任者であって、労働安全衛生法第19条の2に基づく足場の組立て等作業主任者能力向上教育を受けた者									
2) 労働安全衛生法第81条に規定する労働安全コンサルタント(区分が土木又は建築である者)や厚生労働大臣の登録を受けた者が行う研修を修了した者等法第88条に基づく足場の設置等の届出に係る「計画作成参画者」に必要な資格を有する者									
3) 全国仮設安全事業協同組合が行う「仮設安全監理者資格取得講習」、建設業労働災害防止協会が行う「施工管理者等のための足場点検実務研修」を受けた者等足場の点検に必要な専門的知識の習得のために行う教育、研修又は講習を修了するなど、足場の安全点検について、上記1)又は2)に掲げる者と同等の知識・経験を有する者									
3. 三重県産業廃棄物税									
本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には、完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に、別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して、当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。									
なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表(マニフェストの数量の集計)を超えて請求することはできない。									
4. 電気工作物の種類									
●一般電気工作物 ●自家用電気工作物									
5. 電気工事士									
電気工事士の区分により施工するものとし、契約電力が500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工するものとする。									
6. 電気工事業の業務の適正化に関する法律									
電気工事の施工場所ごとに、その見やすい場所に、氏名又は名称、登録番号その他の経済産業省令で定める事項を記載した標識を掲げなければならない。									
7. 電気保安技術者									
電気工作物に係る工事は電気保安技術者を配置し、工事期間中の電気工作物の保安業務を行う。									
また、電気主任技術者が選任されている施設においては、電気主任技術者に工事内容の説明を行い、工事の調整にあたる指導を受けるものとする。									
なお、電気主任技術者の立会費用は、下記のとおりとする。									
・受注者負担 ●不要 ●その他()									
8. 品質管理									
工事施工に関して、着手前・施工中・施工後の自主検査を実施すること。									
チェックリスト等を作成し、管理を行うこと。									
9. 出来形管理									
以下の項目について、出来形管理の対象として管理を行うこと。									
① 各種盤据付 耐震強度(設計標準震度、アンカーの種類・サイズ確認・埋め込み深さ)基礎寸法水平垂直									
② 配管・配線工事 支持間隔									
③ スイッチ類の取付高さ									
10. 測定機器の校正等									
試験に使用する計測器類は2年以内の校正証明書(写)又は有効期限内の精度保証書(写)等を提出する。									
また、照度計、騒音計、振動レベル計等の特定計量器を用いて計測する場合は、計量法に基づく検定に合格し、かつ検定有効期限内のものを使用する。									
11. 施工計画等									
受注者は施工に先立ち、次の書類を提出し監督員と打合せを行う。									
なお、書類の作成においては、関連する関係者と十分に調整すること。									
① 総合施工計画書									
包含工事の場合は、電気設備工事施工計画書とする。									
② 工種別施工計画書(施工要領書)									
各種工種ごとに作成し、停電及び搬入計画書も作成する。									
③ 施工図(プロット図、平面図、展開図、各種詳細図)									
主要機器、重量機器、3kg超過吊器具類等については、固定方法、吊り方法等の詳細図を作成し、十分な耐震性能を確保する施工方法を提案すること。									
④ 耐震計算書									
⑤ 照度分布図									
12. 機材等									
工事に使用する材料及び機器等については、次の書類を提出する。									
① 使用機材届出書									
② 機器明細図									
使用機材届出書に記載のものその他、監督員の指示による。									
③ 各種計算書									
設計図書による他、監督員の指示による。									
13. 完成図書									
() ●完成図 ●保全に関する資料 ●()									
作成する() ●完成図 ●保全に関する資料 ●()									
完成図作図範囲(設計図を訂正)									
完成図はC A Dにより作成することとし、著作権(著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む)にかかる使用権は発注者に移譲する。また、製本2部(原図サイズ)により提出すること。									
14. 工事写真									
営繕工事写真撮影要領(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(最新版))に従い、撮影すること。									
なお、デジタル工事写真の小黑板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の小黑板情報電子化について(令和5年3月1日付け国営建技第14号)」による。									
15. 施工条件									
監督員及び関係部局と協議調整し決定すること。									
(1)施工可能日									
●指定なし ●一部指定あり(振動・騒音等作業、重機搬入等入退場、停電作業等) ●指定あり									
指定日(・施設休業日 ●打ち合わせ ●その他())									
(2)施工可能時間帯									
●指定なし ●一部指定あり(振動・騒音等作業、重機搬入等入退場、停電作業等) ●指定あり									
指定時間(・()時～()時 ●打ち合わせ ●その他())									
(3)その他()									
16. 事故の発生時									
工事施工中に事故が発生した場合には直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出しなければならない。									
なお、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取調査、検証等に協力すること。									
17. 建築副産物情報交換システムの利用									
受注者は工事着手前に「再生資源利用計画書」(建設資材の搬入がある場合)及び「再生資源利用促進計画書」(建設副産物の搬出がある場合)を作成し、施工計画書に含めて監督員へ写しを提出するとともに法令等に基づき、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。									
また、工事完了後には「再生資源利用実施書」(建設資材の搬入があった場合)及び「再生資源利用促進実施書」(建設副産物の搬出があった場合)をすみやかに作成し、監督員へ写しを提出すること。									
なお、各計画書及び実施書の作成等は、JACICが運営する「建設副産物情報交換システム」に登録のうえ、行うこと。									
18. 発生材の処理等									
・本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事である。									
分別解体等及び特定建設資材の再資源等の実施について適正な措置を講ずることとする。工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。									
分別解体等の方法									
工種 ●新築 ●増築 ●修繕 ●模様替 ●解体 ●その他()									
分別解体の方法 ●手作業 ●手作業、機械作業併用									
(1)引き渡しを要するものは下記のとおりとし、それ以外は別途監督員の指示による。									
()									
(2)特別管理産業廃棄物 ●変圧器 ●コンデンサ ●その他()									
現場内の監督員の指定する場所へ保管するものとする。									
なお、施工に際してP C B等特別管理産業廃棄物及び疑わしき機器等を発見した場合は、監督員に報告し対応を協議するものとする。									
(3)現場内において再利用を図るもの ●発生土 ●その他()									
()									
(4)再資源化を図るもの ●コンクリート塊 ●アスファルトコンクリート塊 ●建設発生木材 ●()									
()									
(5)水銀使用製品産業廃棄物として取り扱うもの ●蛍光灯 ●H Iドランプ(高輝度放電ランプ) ●その他()									
「水銀廃棄物ガイドライン 第3版」(令和3年3月 環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物規制課)に基づき適切に処理すること。									
(6)引き渡しを要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令に従い適正に処理し、監督員に報告すること。									
(マニフェストA、B2、D票を提示すること。)									
19. 官公署への手続き									
工事の着手、着工、完成にあたり、関係官公署への必要な届出、手続き等を遅滞なく行う。									
なお、当該手続きに係る費用は受注者の負担とする。									
●消防設備関係 ●電気工作物関係 ●受電関係 ●通信関係 ●建設工事関係 ●その他()									
20. 消防法関係の手続き									
(1)消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成									
・本工事(●建築工事 ●電気設備工事 ●機械設備工事) ●別途工事									
(2)防火対象物使用開始届出書									
書類の作成(電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入)を行うこと。									
21. 工事用仮設物									
構内への設置 ●できる(施設管理者と協議) ●できない									
22. 工事用電力									
構内既存の施設									
・利用できる(●有償 ●無償) ●利用できない									
本工事で新規受電した時からの電力料金は本工事に含まれる。また、本受電後、引渡しまでの電気主任技術者の選任及びこれに伴う費用負担も本工事に含まれる。									
23. 工事用水									
構内既存の施設									
・利用できる(●有償 ●無償) ●利用できない									
24. 工事中等の保安監理									
電気工作物の範囲が変更になった場合、工事着手から引渡しまでの電気保安管理等にかかる費用は本工事に含まれる。									
25. 搬入計画									
大型機器、重量物等の搬入前に、搬入経路の有効寸法(扉、天井高さ、搬入経路上の曲がり等)、障害物(足場等)、養生方法、運送車両、揚重機械、搬入機械の種類、台数及び数量、雨天の場合の処置、受入検査の方法等を記載し監督員に提出する。									
26. 製品確認									
発注者及び受注者の協議により仕様を決定し、製作するような規格品でない製品並びに監督員が指定する製品については、試験及び検査等を行う機器が整備された施設内において、監督員等が製品の確認をするものとする。									
27. 機材等の検査及び試験									
検査及び試験を行うべき機材等は、設計図書によるほか、監督員の指示による。									
28. 完成確認及び完成検査時等の電源確保									
機器の動作確認、電圧、極性、相回転等確認できるように電源を確保すること。									
29. 完成時の操作説明									
総合盤等操作に必要な機器については、使用開始前に操作説明を行うものとする。また、必要に応じて操作説明書、操作注意事項書を作成し、機側に備えるものとする。									
30. 不正軽油の使用の禁止									
(1)工事現場で使用し、又は使用させる車両(資機材の搬出入車両を含む。)並びに建設機械等の燃料として、不正軽油(地方税法第144条の32(製造等の承認を受ける義務等)の規定に違反する燃料をいう。)を使用してはならない。									
(2)受注者は、県が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等と同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。									
(3)受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じよう管理及び監督しなければならない。									
Ⅳ. 施工仕様									
下記の該当する項目を適用する。また、選択する事項は、●印のついたものを適用する。									
1. 既設設備等の調査									
既設設備等の改修を含む場合、他の設備、施設運営に影響をきたさないよう、現地工事着工前に十分な調査を行うこと。									
(1)地中埋設管路									
1)項 目 ●埋設配管 ●構造物 ●その他()									
2)調査範囲 ●埋設ルート ●その他()									
(2)貫通及びはつり									
1)項 目 ●鉄筋 ●配管 ●その他()									
2)調査範囲 ●施工部分 ●その他()									
(3)既設との取合い									
1)項 目 ●接続箇所 ●増設箇所 ●その他()									
2)調査範囲 ●施工部分 ●その他()									
2. 施工前の測定等									
改修工事にあたっては、工事範囲の既設機器の動作確認及び絶縁測定等を着工前に行い、監督員に報告すること。									
3. 耐震基準									
耐震措置の計算及び施工方法は、次の基準を適用する。									
(1)「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準 平成25年版」(国土交通省大臣官房官庁営繕部)									
(2)「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」									
4. 耐震施工									
(1)想定される地震に施工する設備を対応させる。									
(2)耐震計算書を監督員に提出する。									
5. はつり									
(1)穴開け及び補修 ●なし ●あり (貫通場所及び口径は別図による)									
(2)溝はつり及び補修 ●なし ●あり (はつり深さは別図による)									
6. あと施工アンカー									
性能確認試験及び施工確認試験 ・行う ●行わない									
7. 基礎の配線ビット									
基礎に配線ビットを設ける場合、ビットの寸法は敷設するケーブルの曲げ半径、条数、将来増設時の作業性、事故時の対応、排水等に配慮する。									
8. 配管・配線の耐震処置									
建物引込部の配管の耐震処置 ●行う ●行わない									
建物のエキスパンションジョイント部の配線の耐震処置 ・行う ●行わない									
9. 最上階の埋込配管									
最上階のコンクリート屋根スラブへの埋込配管は、原則として行わない。									
10. 露出配管									
(1)雨線外など水気のある場所に施設する場合は、U字配管を行わない。									
(2)附属品は、ねじ込み形を使用する。									
(3)壁面配管で人が容易に触れるおそれのある部分(2m以下)の配管には、突起のない支持物又は保護カバーを使用する。									
(4)通路部分では床配管を避け、天井配管の場合は原則2.1m以上とする。									
(5)監督員の指示がある場合は、上記に係わらずその指示に従う。									
11. 合成樹脂管									
(1)合成樹脂管の管端には、プッシングを取り付ける。									
(2)原則として屋外の露出には使用しない。(P F管)									
12. 予備配管等									
埋込型分電盤からの立上り予備配管は、予備回路が4回路以下は(P F22)を1本、5回路以上は(P F22)を2本施工する。スラブ天井の場合は、天井又は梁下200mmまで立上げ、位置ボックスを取付ける。また、二重天井の場合は、天井まで立上げ、位置ボックスを取付ける。									
13. 金属製配線管等の塗装									
(1)露出配管、露出ボックス、鋼製プルボックス等のうち下記の部分には、塗装を施す。									
1)屋外、屋内(電気室、機械室、E P S、居室、廊下)、その他建築意匠上必要な箇所。									
2)図面に特記なき場合は、溶融亜鉛メッキ鋼材製のポール及びアームは塗装しなくてもよい。ただし、図面に指示がある場合はその指示による。									
3)湿気、水気のある場所及びコンクリート埋込みの金属製位置ボックスの内面には絶縁性防錆塗料を十分に塗布すること。(監督員が指示した場所は除く。)									
4)仮枠貫通部の金属配管には錆止め塗装を施すこと。									
(2)塗装はエッチングプライマー1種の下地処理のうえ、監督員の指定する色にて調合ペイント2回塗りとする。ただし、指定場所及びその他建築意匠上、必要な箇所の露出プルボックスは指定色焼付塗装とする。									
14. 導入線									
通線を行わない配管及び配線引抜き後に空となった配管には、導入線(φ1.2mm以上の樹脂被覆鉄線等)を挿入する。ただし、長さ1m以下の部分は省略することができる。									
15. 予備スリーブ									
梁下に配管・配線スペースがない梁には、1スパンに2本程度を予備スリーブとして埋込む。									
なお、防火区画貫通スリーブは、防火区画処理を行うこと。									
16. ボックス類									
位置ボックス及びジョイントボックス類は、特記なき場合、原則として金属製とする。									
17. 軽量間仕切のボックス									
軽量間仕切に位置ボックスを固定する場合は、ボルト等により堅固に固定する。									
18. プルボックス									
(1)屋外形、特殊な形状又は一辺が800mm以上のものは、製作図を提出すること。									
(2)屋外形プルボックスはボックス内に支持ボルトが突出しない構造とし、取付部にはコーキングを行う。									

19. ボルト・ナット類 屋外に使用する支持金物及びボルト、ナット類で特記のないもの ●ステンレス ・溶融亜鉛メッキ仕上げ 20. ケーブル及び配線 (1)表示 下記の箇所で、ケーブル等に行き先等表示札（ケーブル種別及びサイズ、行き先、施工年、用途、施工者名等を表示。）を取り付ける。 ① ケーブルがスラブを貫通する部分 ② ケーブル分岐部分 ③ 変電所内のケーブル引出し部分 ④ 盤内及び接地端子箱の外部配線引込み部分 ⑤ 屋内の直線部分は、３０ｍごと ⑥ ブルボックス内 ⑦ 屋外の共同溝等の直線部分は、５０ｍごと ⑧ 屋外の地中管路より建物内への引込み部分 ⑨ マンホール及びハンドホールごと (2)ケーブル余長 １）地中線式の場合、マンホール、ハンドホール内でケーブル余長を見込む箇所数 ・２箇所 ・４箇所 ・（ ）箇所 ２）架空線式の場合、電柱上でケーブル余長を見込む箇所数 ・２箇所 ・４箇所 ・（ ）箇所 21. 配線器具の設置 (1)特殊コンセントはプラグ付とする。 (2)電源の種類により色を区別する。 (3)配線器具を取り付ける場所が金属の場合は、絶縁棒を使用する。 (4)プレートは、図面に特記なき場合、新金属製とする。 (5)カバープレートは、原則として新金属製とする。 なお、器具を実装しない位置ボックスには用途表示をすること。 (6)フロアプレートは、水平高低調整型（空転防止リング付）とする。 22. 照明器具の設置 (1)照明器具取付完了後、照度測定を行う。照度計は一般形ＡＡ級とする。 (2)天井下地材より支持をする場合は、ワイヤ等により脱落防止の措置を行う。 (3)パイプ吊りの照明器具は振れ止めを施工する。 23. 照明改修の際の測定 対象室の改修前後の照度及び回路電流値の測定を次のとおり行うこと。 測定箇所（各諸室） 測定回数 前後各（１）回 24. 分電盤、制御盤、キュービクル等 図面ホルダー内には、完成図及び回路の行き先がわかる図面を備える。また、既設分電盤・制御盤等を改造した場合は、図面を修正するものとする。 25. 受変電設備、発電設備の設置場所 (1)保守点検、防火上有効な空間、維持管理の空間を考慮する。 (2)屋内に設置する場合は、床の強度計算書、換気計算書等を監督員に提出する。 (3)基礎の高さは周囲の状況を考慮する。 (4)電気室には水管、蒸気管、ガス管、ダクト等を通してさない。 26. 発電設備の燃料配管 (1)フレキシブルジョイント取付位置は、施工前に所轄の消防署と十分に打合せを行う。 (2)配管の接続は、機器の取外し又は保守点検を考慮し施工する。 27. 非常放送設備のスピーカ設置 (1)放送区域の各部からスピーカまでの水平距離は１０ｍ以内とする。 (2)階段等にスピーカを設置する場合は、垂直距離１５ｍ以内とする。 28. 土工事 (1)埋戻しの材料及び工法 ●Ｂ種（材料：根切り土の中の良質土／工法：機器による締固め） ・その他（ ） ただし、配管周りの埋戻し材料は山砂とする。 (2)特記なき地中埋設配管の深さは、ＧＬー６００ｍｍ以上とする。 (3)根切りの種類は、マンホール、ハンドホール、屋外受変電設備及び自家発電装置の基礎等は総掘り、埋設管路等は布掘り、外灯基礎、電柱等はつぼ掘りとする。 (4)機械掘削は根切り底を乱さないようにする。 29. ハンドホール、マンホール 高さ９００ｍｍを超えるものにあつては、タラップ付とする。 なお、タラップの取付は４５０ｍ間隔以内とする。 30. 地中配線路の表示杭 下記の箇所に、地中配線路の表示杭を設置する。 ① 建物への引込口及び送出口付近 ② マンホール・ハンドホール付近 ③ 地中線路の曲折箇所 ④ 道路横断箇所 ⑤ 直線部分では３０ｍ程度に１個（３０ｍに満たない部分はその間に１個）	V. 機器仕様 下記の該当する項目を適用する。また、選択する事項は、●印のついたものを適用する。 なお、詳細については図面による。 【電力設備】 1. 電灯設備 (1)既設等との取り合い (2)機器類 (3)一般照明器具 (4)照明制御器 (5)外灯（単独設置） (6)コンセント等 (7)分電盤、制御盤等 2. 動力設備 (1)既設との取り合い (2)機器類 (3)負荷設備 (4)負荷設備への接続 (5)電動機等の接地 (6)分電盤、制御盤等 3. 雷保護設備 (1)避雷針 (2)雷サージ保護 (3)電源回路保護 (4)通信回線保護 (5)接地設備 (1)接地工事 (2)接地抵抗測定 (3)接地極埋設標 ●無し ●盤改造 ●配線接続 ●電源供給 ・その他（ ） ●分電盤、制御盤等 ・その他（ ） １）形式 ●公共型 ●一般型 ２）灯具 ●ＬＥＤ灯 ・その他（ ） ３）用途 ●屋内用 ●屋外用 ・防災用 ４）環境 ・普通地域 ●塩害地域 ５）照明器具は、認証書又は認定書、試験成績書を提出すること。 １）センサ類 ・明るさセンサ ●人感センサ ●タイマ ・調光スイッチ ・その他（ ） ２）調光方式 ・連続調光 ・段階調光 ・ＯＮ／ＯＦＦ制御 ・その他（ ） ３）制御方式 ●有線 ●無線通信 １）照明用ボ－ル ①材質 ・アルミニウム製 ・鋼製 ・溶融亜鉛メッキ ・その他（ ） ②配線用遮断器又はカットアウトスイッチ内蔵型とする。 ２）基礎 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他（ ） ３）灯具 ・ＬＥＤ灯 ・その他（ ） ４）電源 ・商用電源（６０Ｈｚ）（・２００Ｖ ・１００Ｖ） ・その他（ ） ５）制御 ・ＥＥスイッチ ・タイマ ・その他（ ） ６）接地 ・単独接地（・本工事 ・別途工事 ・既設利用） ・共用 ・その他（ ） ●一般型 ●防水型（・固定型 ・上下動型（アップ式を含む）） １）銘板には、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 ２）図面ホルダーは、Ａ４サイズ以上（キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。）とする。 ３）表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 ４）接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 ５）絶縁抵抗測定用接地端子は壁内の作業のしやすい場所に設ける。 ６）配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。 ●無し ・盤改造 ・配線接続 ・その他（ ） ●分電盤、制御盤等 ・その他（ ） ・給水 ・排水 ・消火 ●空調 ・換気 ・排煙 ●昇降機 ・その他（ ） 図面に特記明示がない場合、負荷設備への接続は本工事とする。 ・専用接地 ・金属管接地（７．５ｋＷ以下） １）銘板には、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）に定める事項に加えて、施工制御盤等年月、受注者名、施工者名を記載する。 ２）図面ホルダーは、Ａ４サイズ以上（キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。）とする。 ３）表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 ４）接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 ５）絶縁抵抗測定用接地端子は壁内の作業のしやすい場所に設ける。 ６）配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。 ７）電流計は赤指針付（定格電流指示）とする。 1）受電部 ・突針 ・棟上導体 ・笠木等の別途施工物 ２）避雷導線 ・引下げ導線 ・建築構造体利用 ３）接地極 ・接地極埋設 ・建築構造体利用 ・測定用補助接地極 ４）接地抵抗の測定 ①測定方法 ・電位差計方式 ・電圧降下法 ②測定回数 ・３回 ・（ ）回 ５）接地極埋設標を設置する。 1）耐雷トランス ・設置（・単相用 ・動力用） ・設置しない ２）ＳＰＤ ・低圧用（・クラスⅠ ・クラスⅡ） ・通信用（・カテゴリＣ２ ・カテゴリＤ１） ３）ＳＰＤの性能仕様は別図による １）低圧用ＳＰＤに使用する配線用遮断器は警報接点付とする。 ２）主幹機器の２次側に設ける場合は配線用遮断器は、定格遮断容量５ｋＡ以上とする。 電話回線、制御回線などの通信回線に侵入するおそれがある場所は、雷サージから機器を保護するため通信用ＳＰＤを設置する。 1）種別 ・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種 ●Ｄ種 ２）施工 ●各種単独 ・共用有り（ ） １）測定方法 ●電位差計方式 ・電圧降下法 ２）測定回数 ●３回 ・（ ）回 接地には接地極埋設標を施工し、接地極の位置がわかるようにする。	【受変電設備】 5. 受変電設備 (1)既設との取り合い (2)機器類 (3)盤類 (4)交流遮断器 (5)断路器 (6)負荷開閉器 (7)変圧器 (8)進相コンデンサ (9)直列リアクトル（進相コンデンサ用） (10)キュービクル等 (11)基礎 (12)配線ビッド及び蓋 (13)設置場所 【電力貯蔵設備】 6. 直流電源設備 (1)用途 (2)容量 (3)整流装置 (4)蓄電池 (5)性能 (6)交流無停電電源設備 (1)用途 (2)容量 (3)給電方式 (4)整流装置等 (5)蓄電池 (6)性能 (7)電力平準化用蓄電設備 (8)分散電源エネルギーマネージメントシステム 高圧以外の受変電設備については、本項によらず別図による。 ・無し ・改造（機器取替、追加等を含む） ・増設 ・配線接続 ・その他（ ） ・盤類 ・交流遮断器 ・断路器 ・避雷器 ・負荷開閉器 ・変圧器 ・進相コンデンサ ・直列リアクトル ・配線用遮断器 ・電磁接触器 ・その他（ ） １）形式 ・キュービクル式配電盤（ＪＩＳ Ｃ ４６２０） ・高圧スイッチギア（ＪＥＭ １４２５）（・ＣＸ ・ＣＷ ・ＰＷ ・ＭＷ） ・開放形配電盤 ・その他（ ） ２）中通路 ・有 ・無し ３）特記事項 真空遮断器（ＶＣＢ） ①操作方式 ・手動ばね操作 ・電動ばね操作 ・電磁操作 ②引外し方式 ・電流引外し ・コンデンサ引外し ・直流電圧引外し １）形式 ・３極単投 ・単極単投（避雷器用に限る） ２）操作方式 ・遠方手動操作 ・フック棒操作（避雷器用に限る） １）形式 ・配電盤用 ・引込柱用 ・地中引込用 ①操作方式 ・フック棒操作 ・遠方手動操作 ・電動操作 ②限流ヒューズ ・有（ストライカ付き） ・無し ③引外し装置 ・ストライカ引外し ・電圧引外し ・無し ①本体及び制御箱の材質 ・ステンレス製 ・鋼製 ②保護装置 過電流蓄勢トリップ付地絡方向継電器とし、制御電源用変圧器内蔵とする ③避雷器 ・内蔵 ・無し ４）地中引込用 保護装置は、過電流蓄勢トリップ付地絡方向継電器とし、制御電源用変圧器内蔵とする １）形式 ・油入 ・モールド ２）設置方式 ・屋外型 ・屋内型 ３）ダイヤル温度計 ・有（・最大値指針 有 ・最大値指針 無） ・無し 油入５００ｋＶＡ以上、モールド１５０ｋＶＡ以上の場合は必須とする １）絶縁方式 ・油入 ・モールド ・ガス入 ２）その他 ①内部異常を検知して動作する保護接点を設けること ②放電装置を附属又は内蔵すること １）絶縁方式 ・油入 ・モールド ２）容量 ・６％ ・１３％ ３）その他 内部異常を検知して動作する警報接点を設けること １）銘板には、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 ２）図面ホルダーは、Ａ４サイズ以上（キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。）とする。 ３）表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 ４）接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 ５）絶縁抵抗測定用接地端子は壁内の作業のしやすい場所に設ける。 ・本工事（・２１Ｎ/mm2 ・１８Ｎ/mm2） ・別途工事 ・既設利用 ・その他（ ） １）施工 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他（ ） ２）ビット蓋の加工が必要な場合は、本工事にて行うこと。 ・屋内 ・屋外（・地上 ・屋上） ・非常用照明器具電源 ・受変電設備制御電源 ・その他（ ） （ ）ｋＶＡ １）出力電圧 直流（・１２Ｖ ・２４Ｖ ・４８Ｖ ・（ ）Ｖ） ２）整流装置は、蓄電池を充電するための電流並びに監視及び制御等で消費される電流を考慮して選定する。 １）種類 ・鉛蓄電池（・ＨＳ ・ＭＳＥ ・長寿命形ＭＳＥ） ・アルカリ蓄電池（・ＡＨ ・ＡＭＨ） ・その他（ ） ２）最低蓄電池温度 ・５℃ ・１５℃ ・２５℃ ・-５℃ ・（ ）℃ 停電補償時間（ ） ・仕様詳細は別図による。 ・仕様詳細は別図による。	<
---	---	---	---

特 記 事 項	意見を聞いた建築設備士：エーエフ環境技術オフィス 水谷浩（建築設備士 第28D1-0077MT号）			 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図 	工事名称	縮 尺 A2:1/100 A3:1/141	設計日 E002 (原図:A2)
					一級建築士 第320204号	一級建築士 第307846号	一級建築士 第378328号	一級建築士 第360917号	図面名称					
					前野 将輝	三橋 五百子	加藤 早妃	前田 祐作	電気設備 特記仕様書 2					



付 近 見 取 図 1/5000



全体配置図 1/800

各 棟 面 積 表							
	番号	棟 名	建築面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	構造	床面積 (㎡)	
						1 階	2 階
申 請 建 物 (新 築)	①	管理棟	286.82	448.00	RC造	224.00	224.00
	③	サッカーゴール等収納庫	234.00	234.00	S造	234.00	—
	④	陸上器具庫	300.00	300.00	S造	300.00	—
	⑤	写真判定棟	47.95	95.90	S造	47.95	47.95
	⑥ a	屋外トイレ (南)	12.67	12.67	RC造	12.67	—
	⑥ b	屋外トイレ (北)	12.67	12.67	RC造	12.67	—
	小 計			894.11	1,103.24		831.29
改 修	⑦	スタンド棟	340.67	568.26	RC造	253.85	314.41
小 計			340.67	568.26		253.85	314.41
合 計			1,234.78	1,671.50		1,085.14	586.36

弱電設備 配管配線一覽

番号	配線	配管	設備名称	番号	配線	配管	設備名称	
1	EM-UTP-CAT6	FEP50	LAN (フィールド'設備用)	4	空配管	FEP30	LAN	
	空配管	FEP65			空配管	FEP30		TEL (火災通報装置)
	EM-AE0. 9-2C	FEP30			インターホン	EM-HP1. 2-2C		FEP30
2	EM-AE1. 2-5P	FEP40	フィールド'放送設備	5	EM-HP1. 2-10P	FEP30	フィールド'放送設備	
	EM-UTP-CAT6(シールド'付)				EM-AE1. 2-5P×3	FEP40		フィールド'放送設備
	空配管				FEP65	EM-HP1. 2-5P		FEP30
3	EM-AE0. 9-2C	FEP30	フィールド'放送設備	6	EM-HP1. 2-10P	FEP30	フィールド'放送設備	
	EM-AE1. 2-5P	FEP40			空配管	FEP30		LAN
	EM-UTP-CAT6(シールド'付)	FEP40			空配管	FEP30		TEL (火災通報装置)
3	EM-UTP-CAT6	FEP30	LAN (フィールド'設備用)	7	空配管	FEP30	LAN, TEL	
	空配管	FEP65			空配管	FEP30		非常業務放送
	空配管	FEP30			EM-AE1. 2-5P×2	FEP40		フィールド'放送設備
	空配管	FEP30			EM-HP1. 2-5P	FEP30		自動火災報知設備
	EM-AE0. 9-2C	FEP30			EM-HP1. 2-10P	FEP30		TEL (火災通報装置)
	EM-HP1. 2-2C	FEP30			空配管	FEP30		非常業務放送
	EM-HP1. 2-10P	FEP30			空配管	FEP30		フィールド'放送設備
	EM-AE1. 2-5P×4	FEP50			フィールド'放送設備	8		EM-AE1. 2-5P
EM-UTP-CAT6(シールド'付)	FEP50	自動火災報知設備	空配管	FEP30	非常業務放送			
	EM-HP1. 2-5P	FEP30	自動火災報知設備	9	EM-HP1. 2-10P	FEP30	フィールド'放送設備	
	EM-HP1. 2-10P	FEP30			EM-AE1. 2-5P	FEP30	自動火災報知設備	
					EM-HP1. 2-5P	FEP30	自動火災報知設備	
					EM-HP1. 2-10P	FEP30	自動火災報知設備	

[illegible]

特	意見を聞いた建築設備士：エーエフ環境技術オフィス 水谷浩（建築設備士 第28D1-0077MT号）
---	---



一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
一級建築士 第320204号 前野 将輝

代表設計者
一級建築士
第320204号
前野 将輝

設計担当
一級建築士
第307846号
三橋 五百子

設計担当
一級建築士
第378328号
加藤 早妃

設計担当
一級建築士
第360917号
前田 祐作

設計担当

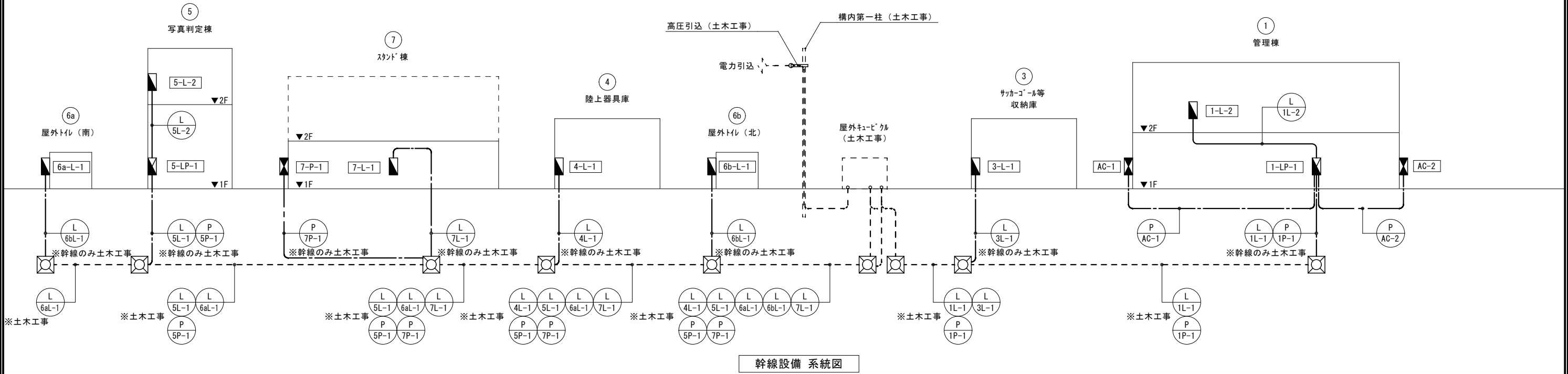
法適合確認

作図	水周
検図	

工事名称	海浜公園内陸上競技場改修工事
図面名称	【共通】電気設備工事 全体配線

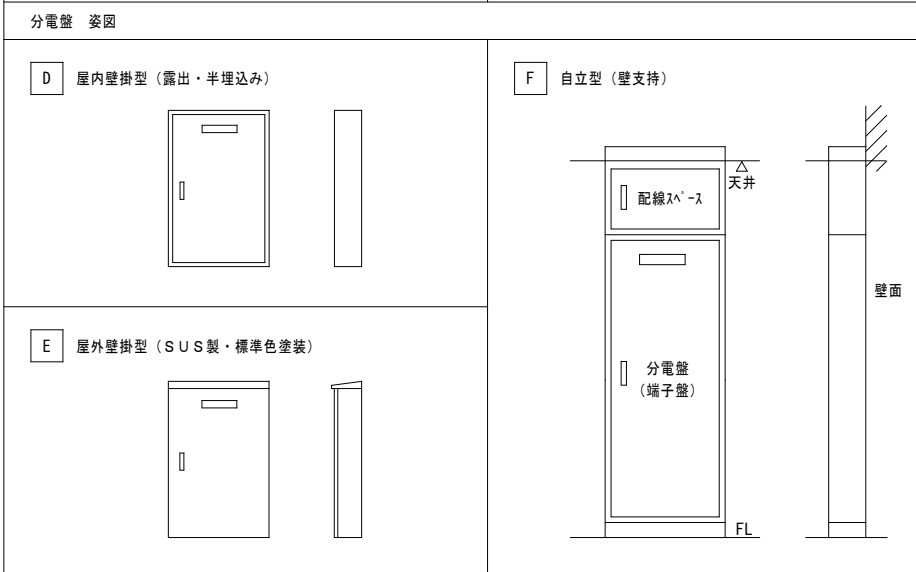
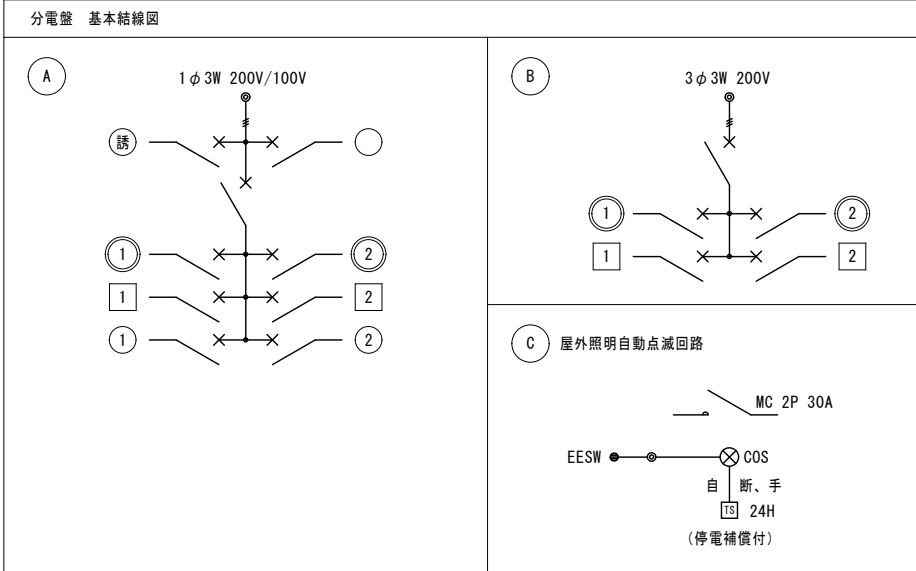
	縮尺
	A2: 1/600
	A3: 1/845

設計日	
図面番号	E004
(原図:A2)	



幹線リスト ※キュービクル～各建物の分電盤のケーブルは全て土木工事、建物第一ハントホール～分電盤の配管は工事対象

幹線記号	行先	ケーブルサイズ	経路				備考	幹線記号	行先	ケーブルサイズ	経路				備考
			屋外	屋内	ラック	天井内					屋外	屋内	ラック	天井内	
$\frac{L}{1L-1}$	屋外キュービクル～1-LP-1	EM-CET200	FEP100					$\frac{P}{1P-1}$	屋外キュービクル～1-LP-1	EM-CET200	FEP100				
$\frac{L}{1L-2}$	1-LP-1～1-L-2	EM-CET22. E5. 5×2				○		$\frac{P}{5P-1}$	屋外キュービクル～5-LP-1	EM-CET14	FEP40 E51				
								$\frac{P}{7P-1}$	屋外キュービクル～7-P-1	EM-CET100	FEP80 HI82				
$\frac{L}{3L-1}$	屋外キュービクル～3-L-1	EM-CE5. 5-3C	FEP30	E31											
$\frac{L}{4L-1}$	屋外キュービクル～4-L-1	EM-CE8-3C	FEP30	E31				$\frac{P}{AC-1}$	1-LP-1～AC-1	EM-CET100 E14×2	FEP80 HI82				
$\frac{L}{5L-1}$	屋外キュービクル～5-LP-1	EM-CET38	FEP50	E63				$\frac{P}{AC-2}$	1-LP-1～AC-2	EM-CET60 E8×2	FEP65 HI170				
$\frac{L}{5L-2}$	5-LP-1～5-L-2	EM-CE8-3C. E5. 5×2		E39		○									
$\frac{L}{6aL-1}$	屋外キュービクル～6a-L-1	EM-CET14	FEP40 HI42												
$\frac{L}{6bL-1}$	屋外キュービクル～6b-L-1	EM-CE5. 5-3C	FEP30 HI28												
$\frac{L}{7L-1}$	屋外キュービクル～7-L-1	EM-CET100	FEP80 HI82												



- 【特記事項】
1. 盤塗装は、標準色仕上げとする。

2. 扉面のハンドルは、キー付きとする。

3. 同一盤内に異種電源がある場合は、セパレーターを設ける。

4. 盤内機器・遮断器・電磁接触器等には、回路番号と負荷名称を記入する。

5. 中蓋の取付ビスは、脱落防止付きとする。

6. 誘導灯・非常照明専用回路のブレーカーには、赤色ハンドルロックを取り付ける。

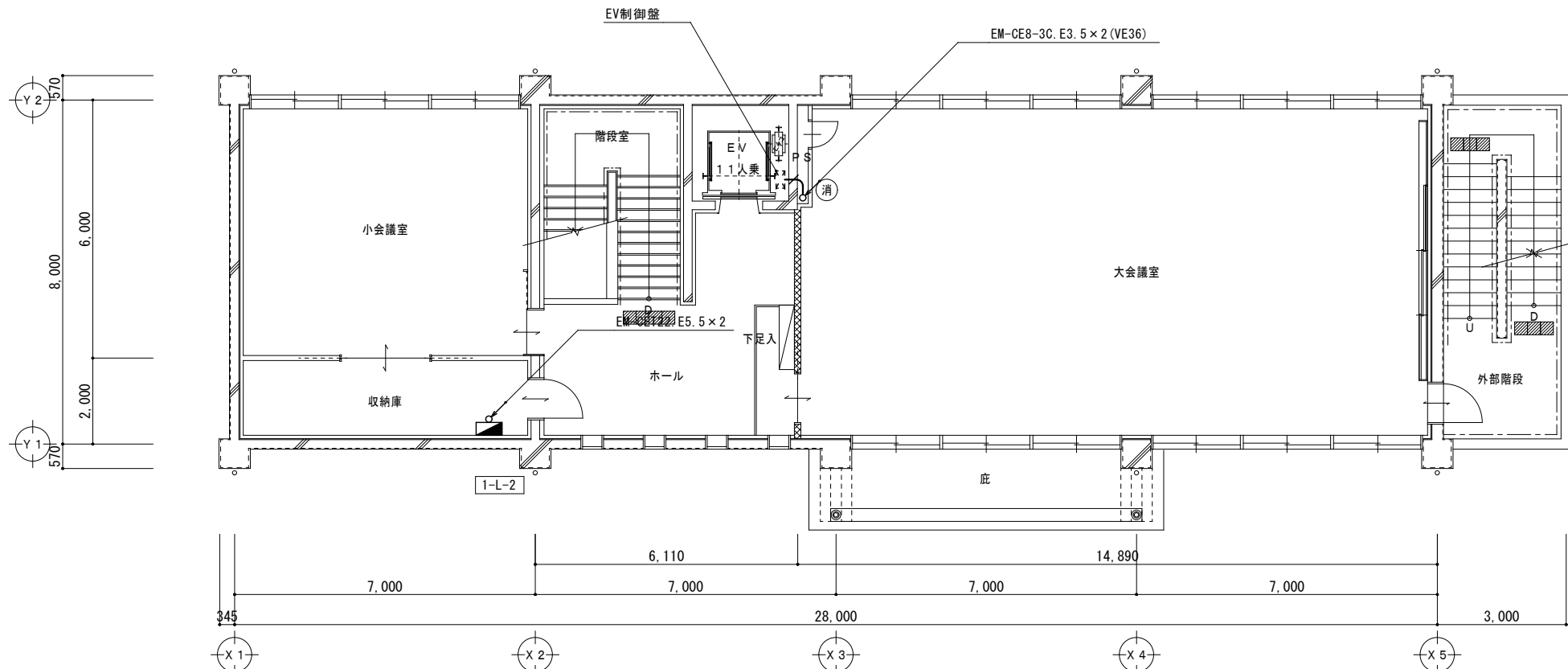
【回路記号】

No.	電灯回路	100V	No.	空調関係回路	100V
No.	電灯回路	200V	No.	空調関係回路	200V
No.	コンセント回路	100V			
No.	コンセント回路	200V			

盤名称・電気方式 主開閉器	回路	電圧 (V)		開閉器					リモコン リレー	容量 (VA)		備考		
		100	200	MCCB	ELCB	1P	2P	AF/AT		照明	コンセント			
1-LP-1 1φ3W 105/210V	誘	○		○			○	50/20		20		誘導灯		
	信	○		○			○	50/20		410		誘導灯信号装置		
	AMP	○		○			○	50/20		90		非常放送アンプ		
	T	○		○			○	50/20		150		1-T-1		
	NC	○		○			○	50/20		10		トイレ呼出		
	火	○		○			○	50/20		50		火報受信機		
MCCB 3P 225/175A	1-L-2 送り 8.1 kVA													
	非	○		○			○	50/20		10		非常用照明		
	L1	○		○			○	50/20	4R	534		風除室・エントランス照明		
	L2	○		○			○	50/20		770		事務室他照明		
	L3	○		○			○	50/20		401		トイレ照明		
	L4	○			○		○	50/20		45		屋外階段		
	T1	○			○		○	50/20		45		外壁照明（タイマー）		
	Re	○		○			○	50/20		40		リモコントランス		
	D	○		○			○	50/20		10		ドアホン		
	C1	○			○		○	50/20		1,300		電気ボット		
	C2	○			○		○	50/20		1,300		電子レンジ		
	C3	○			○		○	50/20		1,400		IH		
	C4	○			○		○	50/20		1,100		電気温水器		
	C5	○			○		○	50/20		840		冷蔵庫、製氷機、洗濯機		
	C6	○		○			○	50/20		1,350		事務室他コンセント		
	C7	○			○		○	50/20		1,500		複合機		
	C8	○		○			○	50/20		900		エントランスホール他コンセント		
	C9	○		○			○	50/20		500		自動ドア		
	C10	○		○			○	50/20		1,000		自販機		
	C11	○		○			○	50/20		1,000		自販機		
	C12	○			○		○	50/20		1,000		EV コンセント		
	C13	○			○		○	50/20		626		男子トイレ コンセント		
	C14	○			○		○	50/20		1,300		多目的トイレ コンセント		
	C15	○			○		○	50/20		1,000		多目的トイレ コンセント		
	C16	○			○		○	50/20		920		女子トイレ コンセント		
	C17	○			○		○	50/20		1,000		自販機		
	C18	○			○		○	50/20		1,000		自販機		
	C19	○		○			○	50/20		100		空調機集中リモコン		
		○		○			○	50/20		100		タイマー操作盤		
		○		○			○	50/20		1,000		予備		
		○		○			○	50/20		1,000		予備		
計											1,825	21,996		
合計												23.8	kva	
◎ ED ◎ ED (ELCB)	特記事項	1. フル2線式リモコン方式											5. 付属品一式	
		2. リモコンリレー×4台											6. 主幹一次ブレーカにはストッパー取付	
		3. リモコントランス×1台											7. 年間プログラムタイマー×1台（外壁照明）	
		4. T/Uユニット（4回路用）×1台												

電灯
↑
エレベーター
↓
動力

盤名称・電気方式 主開閉器	回路	電圧 (V)	負荷名称	設置場所	負荷容量 (kw)	配線遮断器			二次側配線	
						MCCB	ELCB	AF/AT		
1-LP-1 3φ3W 210V										
	1	200	AC-1	外部西側	18.69	○		225/150		
	2	200	AC-2	外部西側	9.83	○		225/125		
MCCB 3P 225/200A	3	200	EV制御盤 EV		3.80		○	50/40		
合計					32.32	kW				



【注記】
・空調機盤、室外機への接続は金属製可とう電線管（ビニル被覆、防水）とする。

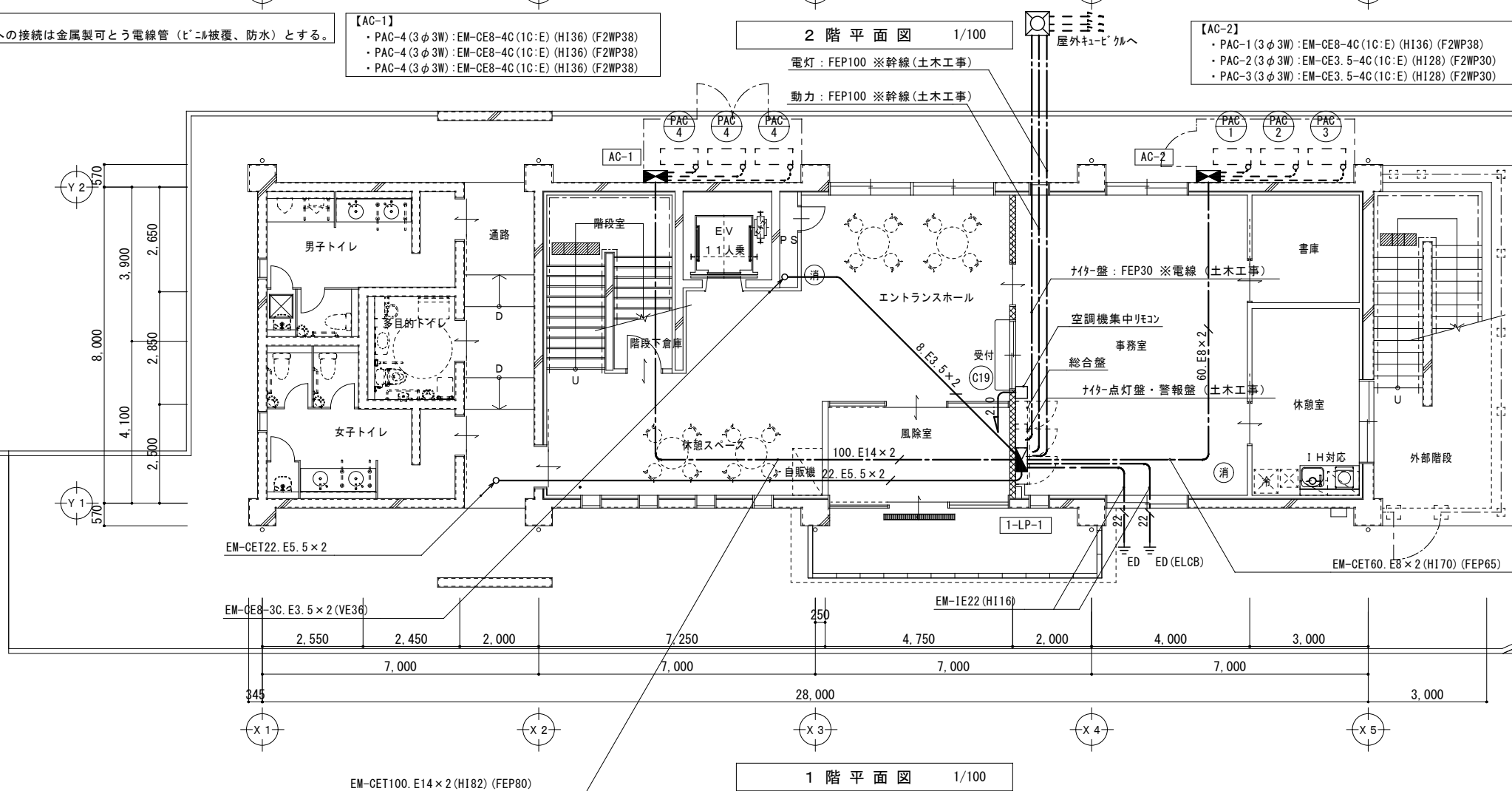
【AC-1】
・PAC-4 (3φ3W) : EM-CE8-4C (1C:E) (H136) (F2WP38)
・PAC-4 (3φ3W) : EM-CE8-4C (1C:E) (H136) (F2WP38)
・PAC-4 (3φ3W) : EM-CE8-4C (1C:E) (H136) (F2WP38)

2 階 平 面 図 1/100

電灯 : FEP100 ※幹線 (土木工事)

動力 : FEP100 ※幹線 (土木工事)

【AC-2】
・PAC-1 (3φ3W) : EM-CE8-4C (1C:E) (H136) (F2WP38)
・PAC-2 (3φ3W) : EM-CE3.5-4C (1C:E) (H128) (F2WP30)
・PAC-3 (3φ3W) : EM-CE3.5-4C (1C:E) (H128) (F2WP30)



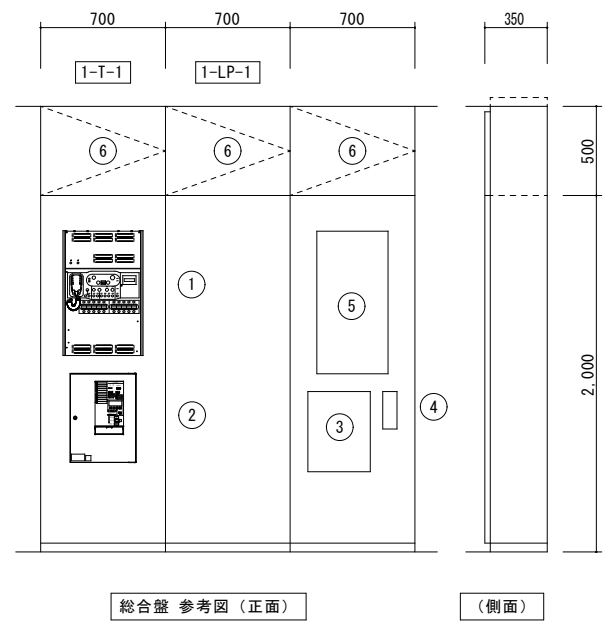
1 階 平 面 図 1/100

特記なき配線は下記による。	
5.5	EM-CE5.5-3C (1C:E) (PF28)

特記なき記号は下記による。		
記 号	名 称	備 考
	電灯動力盤	
	動力分電盤	
≧ ED	接地極 (D種) 接地極埋設標共	
≧ ED (ELCB)	接地極 (D種・ELCB) 接地極埋設標共	
	ハンドホール HH : R8K-60 1200×1200×900	土木工事

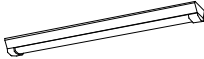
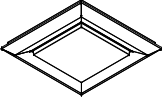
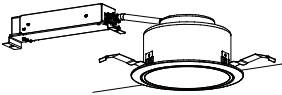
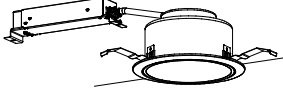
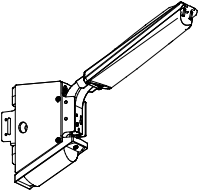
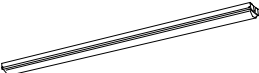
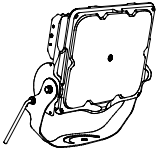
総合盤 (参考図)

番号	名 称
①	非常業務放送アンプ
②	自動火災報知設備受信機
③	誘導灯信号装置
④	EVインターホン (EV工事)
⑤	ナイター点灯盤・警報盤 (土木工事)
⑥	配線ダクト



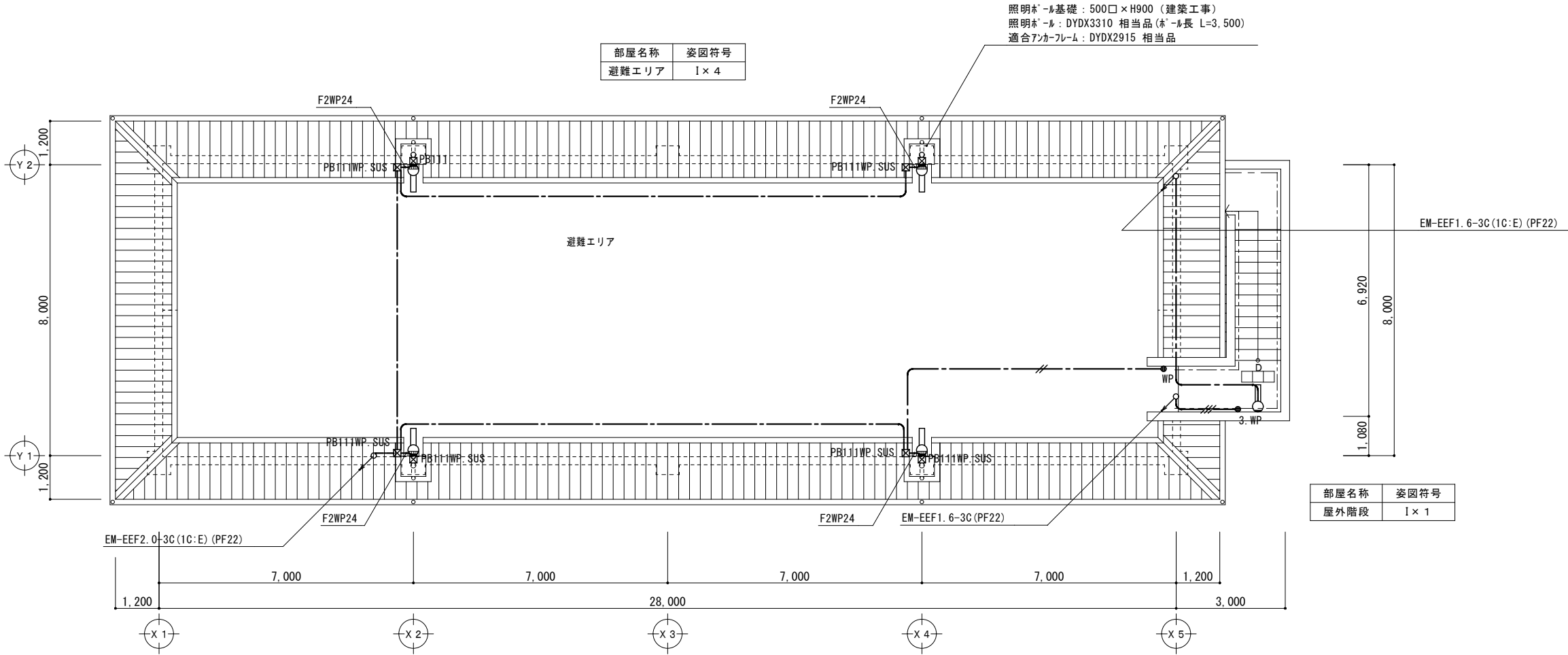
【注記】
1. 配線は天井裏ころがしとし、P・S及び軽量鉄骨壁下地の立下げ部分は P・F 管にて保護すること。(立下露出部は金属線びにて保護する)
2. 配線の接続はジョイントボックスを設けること。

器具参考姿図

A	LEDベースライト	B	LEDベースライト	C	LEDベースライト	D	LEDスクエアベースライト	E	LEDダウンライト
H f 3 2 形高出力型 2 灯器具相当		H f 3 2 形高出力型 1 灯器具相当		H f 3 2 形高出力型 1 灯器具相当		F H P 3 2 形 3 灯器具相当		F H T 3 2 形 1 灯器具相当	
									
6900lm 43.1W		3200lm 20.3W		3040lm 20.6W		6500lm 41.5W		1630lm 11.6W	
公共型番：LSS9-4-65 パナソニック 直付X F X 4 6 0 A E N L E 9		公共型番：LSS9-4-30 パナソニック 直付X F X 4 3 0 A E N L E 9		公共型番：LSS9MP/RP-4-30 パナソニック 直付X L W 4 3 3 A E N Z L E 9		公共型番：LSS15-4-58 パナソニック 直付X L X 1 6 0 N E N J L A 9 相当品		公共型番：LRS14-12-40K パナソニック ダウンライトX N D 1 5 6 7 W W L E 9	
F	LEDダウンライト	G	LEDミラーライト	H	LEDウォールライト	I	LED防犯灯／保安灯	J	LEDベースライト
F D L 2 7 形型 1 灯器具相当		F L 2 0 形 1 灯器具相当		H f 1 6 形高出力型 1 灯器具相当		停電対応蓄電池内蔵防犯灯 蛍光灯 F H P 3 2 形相当		H f 3 2 形高出力型 1 灯器具相当	
									
1005lm 7W		1320lm 11.7W		1480lm 14.9W		1040lm 9W		3200lm 20.3W	
公共型番：LRS14-08-40K パナソニック ダウンライトX N D 1 0 6 7 W W L E 9		標準タイプ、4 0 0 0 K、高演色 R a 9 3、高演色タイプ、クラス 2 器具光束 1 3 2 0 l m、消費電力 1 1. 7 W、電圧 1 0 0 V カバー：プラスチック（乳白） サイドカバー：プラスチック（ホワイトつや消し） 壁面（横向け）取付専用 幅 6 2 0・高 8 7・出し 1 1 0		公共型番：LBF3MP/RP-2-13 パナソニック N N F W 2 1 8 1 0 C L E 9		避難エリア用：パナソニック DYDX3310（適合アンカーフレーム：DYDX2915）相当品 公共型番：LBF3MP/RP-2-13 パナソニック パナソニック 防犯灯 X Y 5 5 4 7 L E 1		公共型番：LSS1-4-30 パナソニック 直付X F X 4 3 0 N E N L E 9	
K	LDL 4 0 W×2 業務用浴室灯	L	LED投光器						
H f 3 2 形高出力型 2 灯器具相当		水銀灯 1 0 0 0 形器具相当							
									
電圧：1 0 0 ～ 2 4 2 V、防湿型 壁面（横向きのみ）・天井面取付兼用 本体：ステンレス（ホワイト） グローブ：アクリル（乳白） 光束維持時間 4 0 0 0 0 時間（光束維持率 9 5 %） 適合ランプ：直管 LED ランプ、素材：ガラス		LED 内蔵、電源ユニット内蔵、防雨型・重耐塩害仕様、狭角タイプ 光束 3 3 2 0 0 l m、消費電力 2 0 3 W、電圧 2 0 0 ～ 2 4 2 V 昼白色、5 0 0 0 K、R a 7 0 光束維持時間 6 0 0 0 0 時間（光束維持率 8 5 %） 本体：アルミ（ブラウン）、前面パネル：ポリカーボネート（透明） アーム：鋼材（溶融亜鉛メッキ） 保護等級 I P 6 5、耐風速 6 0 m / s 落下防止ワイヤー付、耐雷サージ：1 5 K V							
5320lm 62W		33200lm 200V 203W							
パナソニック N N F W 4 2 5 0 0 K L E 9 相当品 ランプ LDL 4 0 S・N / 2 9 / 3 8-K 相当品		パナソニック N Y S 3 5 3 1 5 L E 2 相当品							

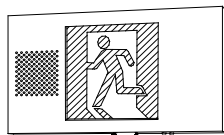
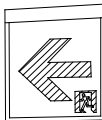
特記なき配線は下記による。	
	EM-EEF2.0-3C(1C:E)(PF22)
	EM-EEF1.6-2C(PF16)
	EM-EEF1.6-3C(PF22)
	EM-EEF1.6-3C(1C:E)(PF22)
	EM-EEF1.6-2C×2(PF22)
	EM-EEF1.6-2C×2(1C:E)(PF22)
	EM-EEF1.6-3C+2C(PF28)
	EM-EEF1.6-3C×2(PF28)
	EM-FCPEE1.2-1P(PF16)

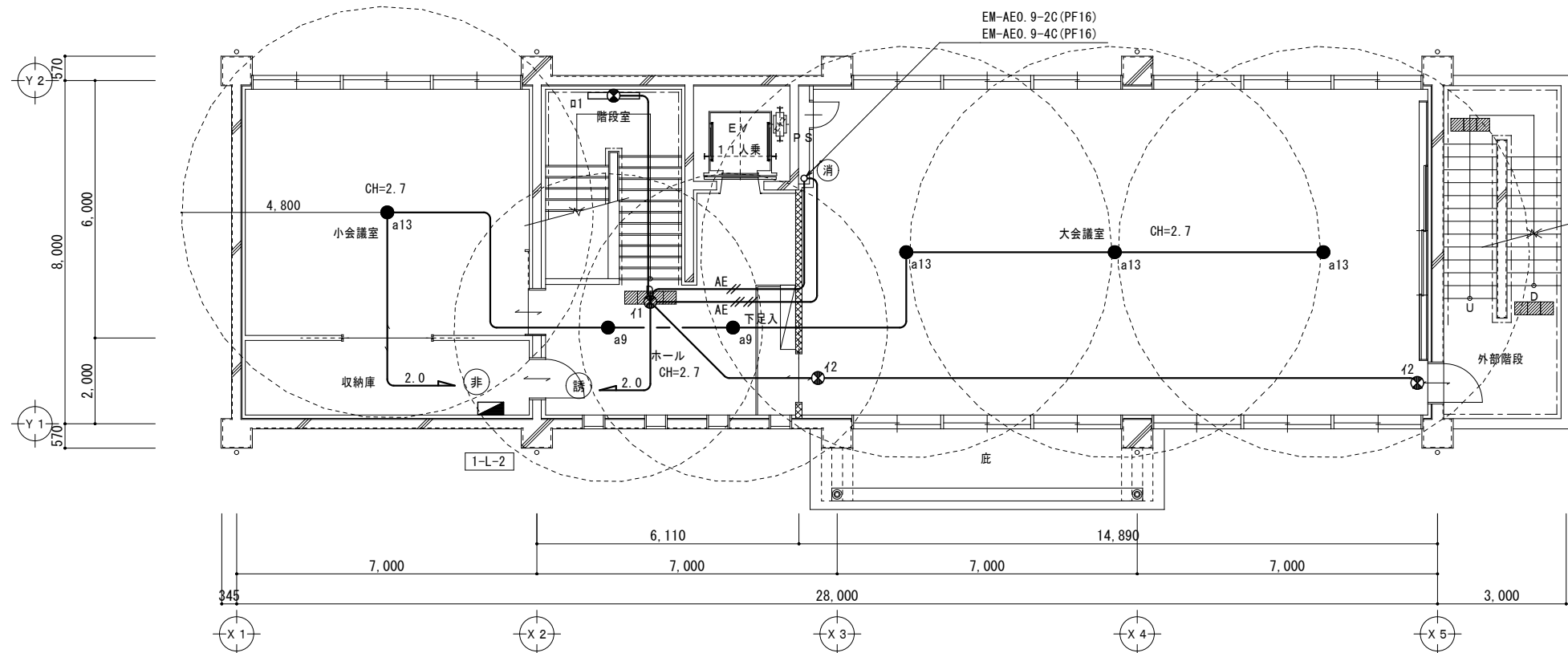
特記なき記号は下記による。		
記号	名称	備考
	電灯動力盤	
	電灯分電盤	
	別途制御盤	
	埋込スイッチ 1P15A×1	
	埋込スイッチ 1P15A×3	
	埋込スイッチ 1P15A×4	
	埋込スイッチ 1P15A(L)×1	
	熱線式自動スイッチ用 操作ユニット (1回路用)	WTA5820WK
	熱線式自動スイッチ用 操作ユニット (2回路用)	WTA5822WK
	熱線式自動スイッチ用センサ 親機	WTK24818
	熱線式自動スイッチ用センサ 子機	WTK29129
	熱線式自動スイッチ用センサ 子機 換気扇連動型	WTK29318
	熱線式自動スイッチ用センサ 親機 (屋外用)	WTK44819
	熱線式自動スイッチ用センサ 子機 (屋外用)	WTK49129
	埋込スイッチ (防雨型) 3W15A×1	
	埋込スイッチ (防雨型) 4W15A×1	
	7W2線リモコンスイッチ	n回路用
	屋外フルボックス 100×100×100 SUS製	
	換気扇-天井付 (24H換気)	機械設備
	24H換気用スイッチ (機械設備より支給品)	機械設備材料支給



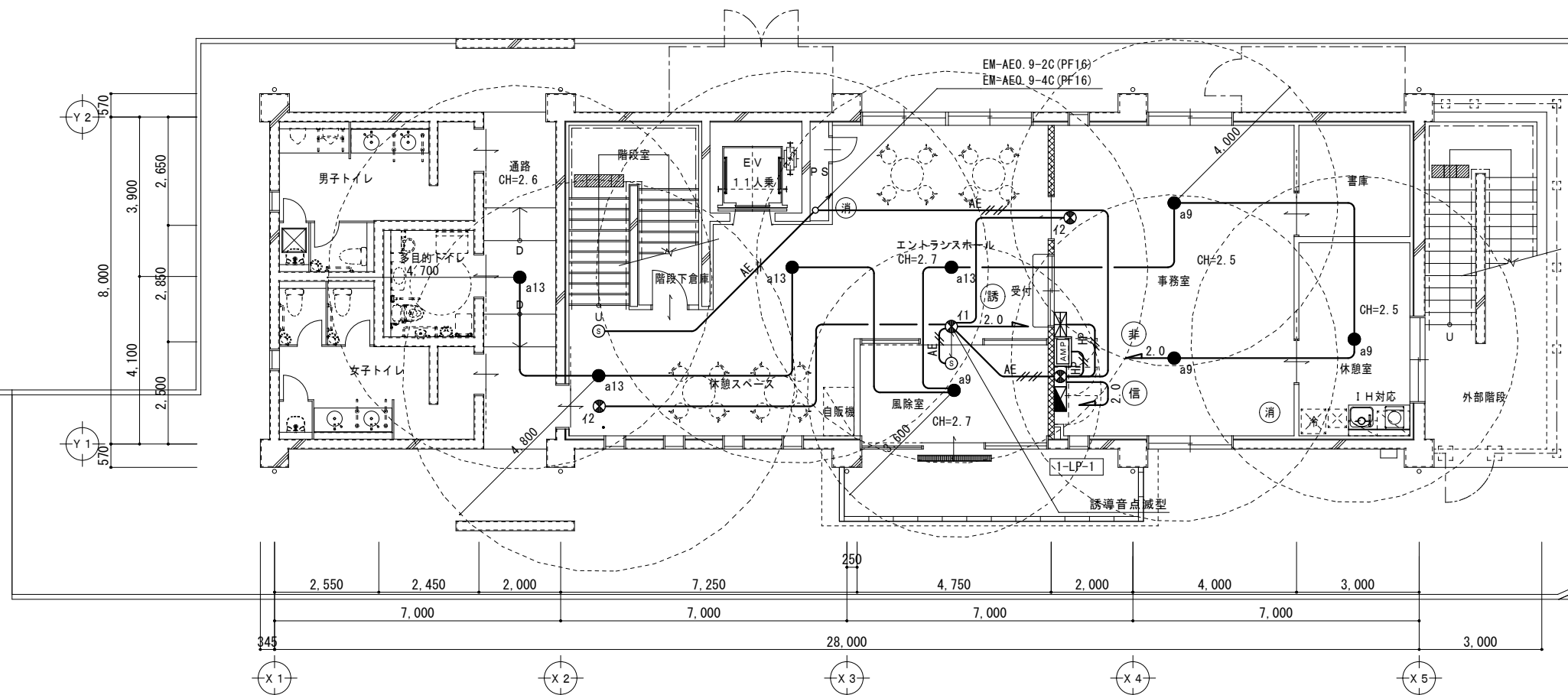
屋根伏図 1/100

器具参考姿図

a9	L E D非常灯専用型リモコン自己点検機能付	a13	L E D非常灯専用型リモコン自己点検機能付																																																						
 保守率：0.92 KO143779 <table><tr><td>器具取付高さ</td><td>2.1m</td><td>2.4m</td><td>2.6m</td><td>3.0m</td></tr><tr><td>単体配置</td><td>A1</td><td>3.8</td><td>4.0</td><td>2.8</td></tr><tr><td>直線配置</td><td>A2</td><td>8.5</td><td>9.4</td><td>9.9</td><td>10.1</td></tr><tr><td>四角配置</td><td>A4</td><td>6.9</td><td>7.6</td><td>8.1</td><td>8.9</td></tr></table> 告示1830号適合品・蓄電池内蔵（ﾊﾞｯﾃﾘｰ） 非常灯評定番号：LALE-004 公共型番：K1-LRS11-1 NNFB90605K 相当品		器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	単体配置	A1	3.8	4.0	2.8	直線配置	A2	8.5	9.4	9.9	10.1	四角配置	A4	6.9	7.6	8.1	8.9	 保守率：0.92 KO143780 <table><tr><td>器具取付高さ</td><td>2.1m</td><td>2.4m</td><td>2.6m</td><td>3.0m</td><td>4.0m</td></tr><tr><td>単体配置</td><td>A1</td><td>4.2</td><td>4.6</td><td>4.7</td><td>4.9</td><td>3.3</td></tr><tr><td>直線配置</td><td>A2</td><td>9.3</td><td>10.2</td><td>10.8</td><td>11.9</td><td>12.9</td></tr><tr><td>四角配置</td><td>A4</td><td>7.4</td><td>8.2</td><td>8.7</td><td>9.6</td><td>11.7</td></tr></table> 告示1830号適合品・蓄電池内蔵（ﾊﾞｯﾃﾘｰ） 非常灯評定番号：LALE-004 公共型番：K1-LRS11-2 NNFB91605C 相当品		器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m	単体配置	A1	4.2	4.6	4.7	4.9	3.3	直線配置	A2	9.3	10.2	10.8	11.9	12.9	四角配置	A4	7.4	8.2	8.7	9.6	11.7					
器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m																																																					
単体配置	A1	3.8	4.0	2.8																																																					
直線配置	A2	8.5	9.4	9.9	10.1																																																				
四角配置	A4	6.9	7.6	8.1	8.9																																																				
器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m																																																				
単体配置	A1	4.2	4.6	4.7	4.9	3.3																																																			
直線配置	A2	9.3	10.2	10.8	11.9	12.9																																																			
四角配置	A4	7.4	8.2	8.7	9.6	11.7																																																			
41	L E D誘導灯	42	L E D誘導灯	43	L E D誘導灯	44	L E D通路誘導灯																																																		
LED B級・BL形 誘導音付点滅型避難口誘導灯片面型  LED誘導灯コンパクトスクエア 壁・天井直付・吊下兼用型 一般型（20分間） ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付 型式認定番号：1AM111-3546 公共型番：SH1-FSF20AF-BL FA20337LE1+FK20000 相当品		LED B級・BL形 避難口誘導灯片面型  LED誘導灯コンパクトスクエア 壁・天井直付型 一般型（20分間） ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付 型式認定番号：1AM111-3209 公共型番：SH1-FSF20-BL FA20312CLE1+FK20000 相当品		LED C級 避難口誘導灯片面型  LED誘導灯コンパクトスクエア 壁・天井直付・吊下兼用型 一般型（20分間） ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付 型式認定番号：1AS111-3618 公共型番：SH1-FSF20-C FA10312CLE1+FK10300 参考品		LED B級・BL形 通路誘導灯両面型  LED誘導灯コンパクトスクエア B級・BL形 両面型 壁・天井直付型 一般型（20分間） ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付 型式認定番号：1AM221-3620 公共型番：ST1-FSF23-BL FA20322CLE1+FK20316+FK20317 相当品																																																			
01	L E D 一体型階段灯 階段通路誘導灯兼用型		誘導灯信号装置		非常灯専用型リモコン																																																				
 告示1830号適合品・蓄電池内蔵（ﾊﾞｯﾃﾘｰ） 型式認定番号：3AE-1082 非常灯評定番号：LALE-015 3800lm 29.6W ひとセンサ段調光30分、Hf32形器具1灯相当 非常時本体組込LED点灯、非常灯評定番号：LALE-015 本体：鋼板（白色塗装）、レンズ：ガラス 常用光ユニット（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 電圧：100～242V対応、蓄電池：ニッケル水素蓄電池 常用光ユニット：光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 自己点検機能付、リモコン：FSK90910K（別売） 公共型番：LDS2-SK1-LBF11 パナソニック NNCF42135LE9 相当品		誘導音＋点滅用（1回路用）  信号回路定格容量：誘導音信号出力・点滅信号出力（DC24V合計2A） 消費電力：13W（最大負荷接続時167W） 電源電圧：100V 定格周波数：50／60Hz 充電モニタ付 型式認定番号：S11A-21 FF90024K 相当品		 ※1台納入する事。 パナソニック FSK90910K 相当品																																																					



2 階 平 面 図 1/100



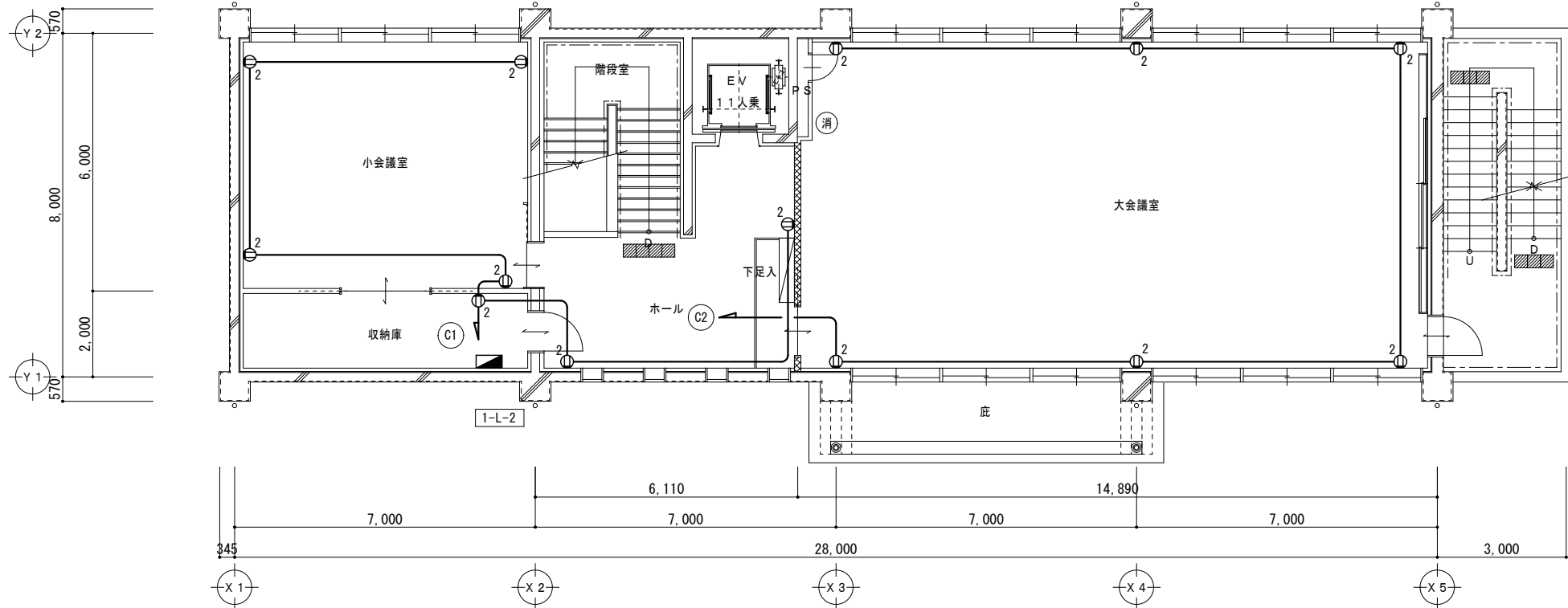
1 階 平 面 図 1/100

- 【誘導灯関連】
1. 避難口誘導灯を設置する箇所の建具は、内側から鍵を用いずサムターン等で手動開放可能とする。
 2. 誘導灯は専用電源とする。
 3. 誘導灯と非常用の照明装置の電源は別とする。

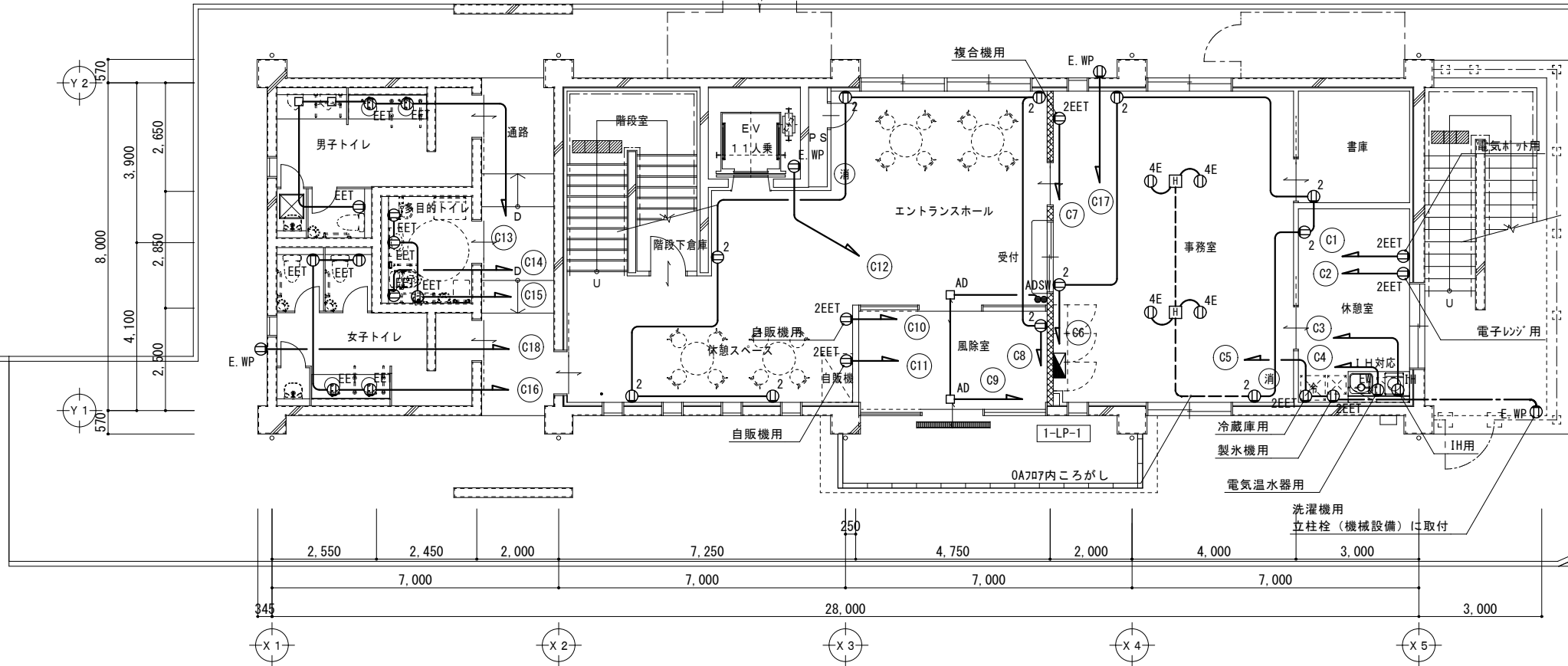
特記なき配線は下記による。	
2.0	EM-EEF2.0-3C(1C:E) (PF22)
	EM-EEF1.6-3C(1C:E) (PF22)
HP	EM-HP1.2-2C (PF16)
AE	EM-AE0.9-2C (PF16)
AE	EM-AE0.9-4C (PF16)

特記なき記号は下記による。		
記 号	名 称	備 考
電灯動力壁		
電灯分電壁		
LED灯 (非常照明用)		
誘導灯信号装置		
避難口誘導灯		
階段通路誘導灯		
煙感知器 3種		自動試験機能付

- 【注記】
1. 配線は天井裏ころがしとし、P S 及び軽量鉄骨壁下地の立下げ部分は P F 管にて保護すること。（立下露出部は金属線びにて保護する）
 2. 配線の接続はジョイントボックスを設けること。



2 階 平 面 図 1/100

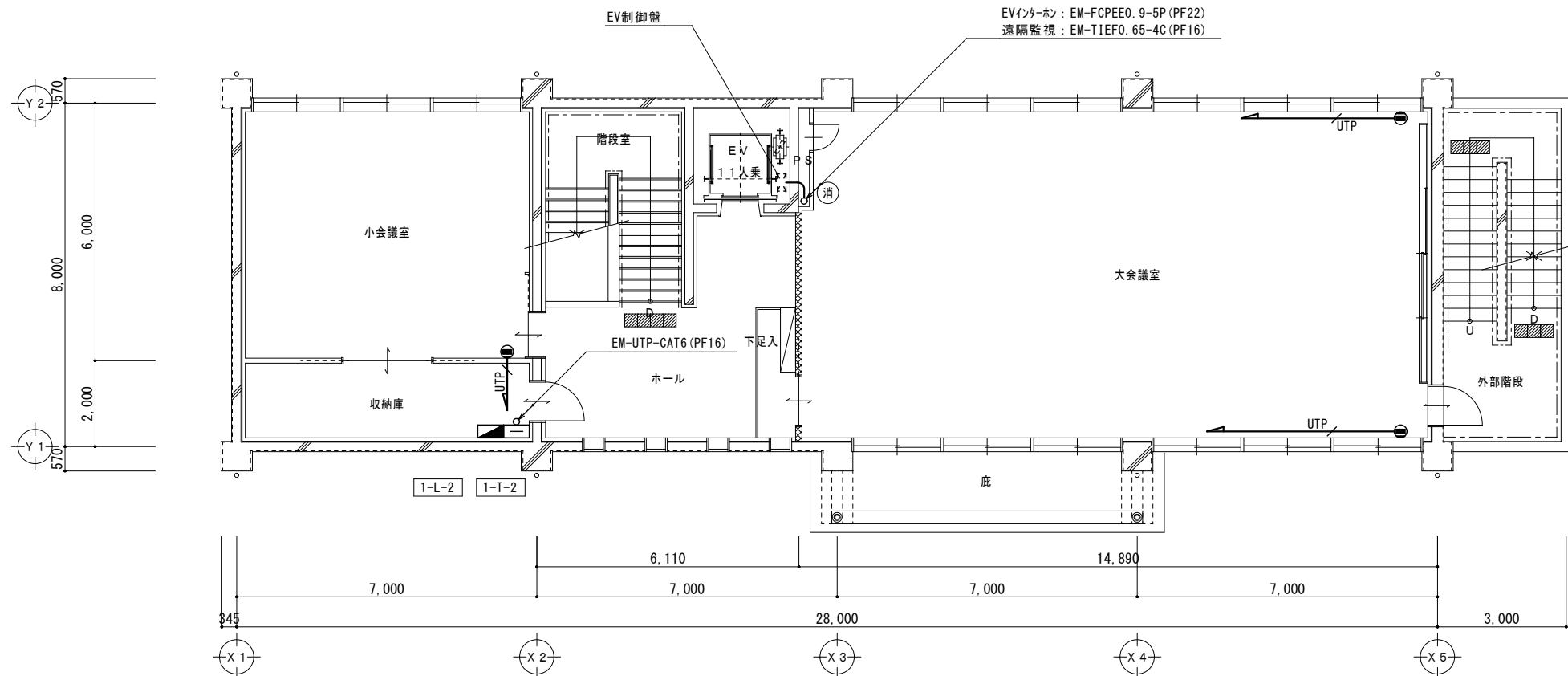


1 階 平 面 図 1/100

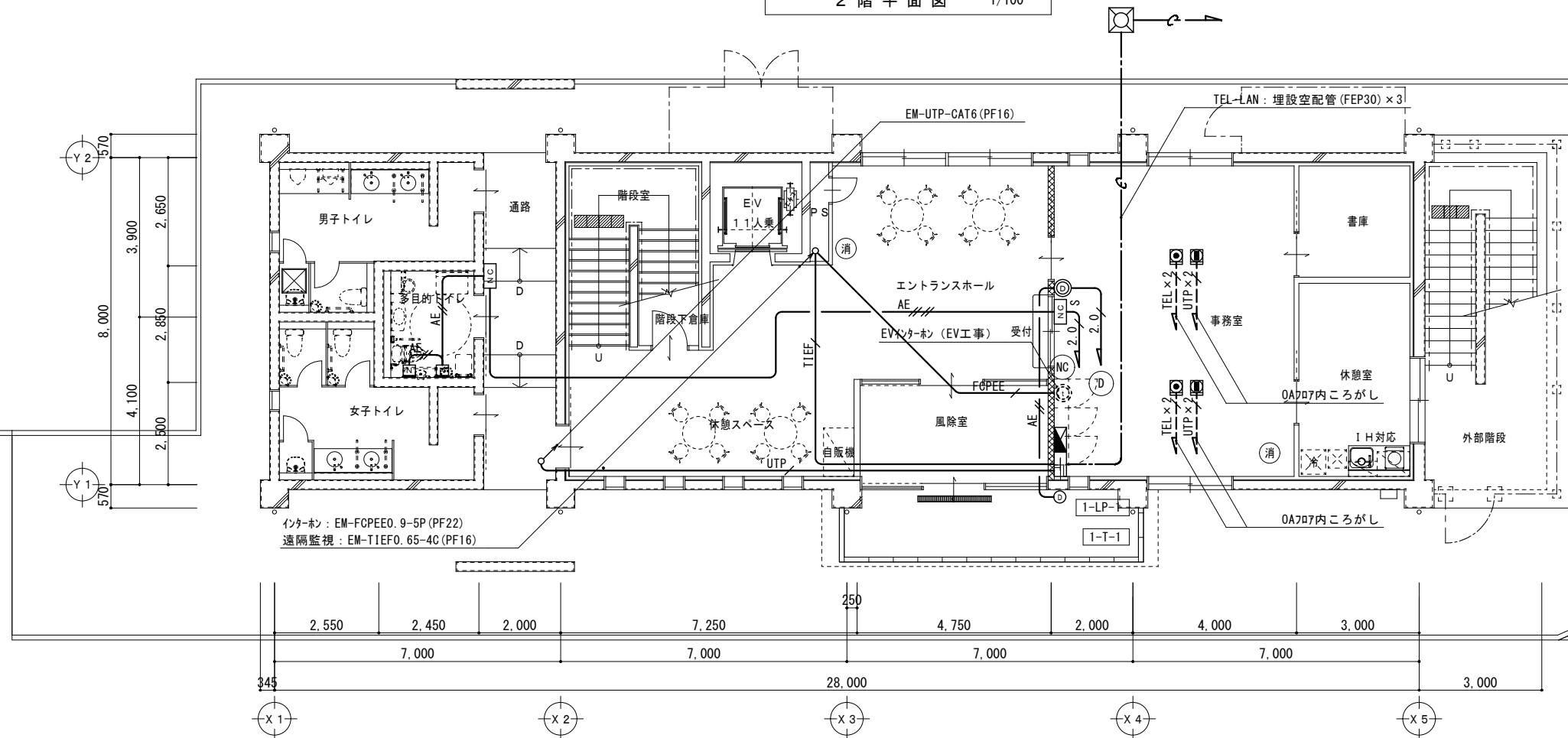
特記なき配線は下記による。		
	EM-EEF2.0-3C(1C:E) (PF22)	
	EM-EEF2.0-3C(1C:E) (FEP30)	

特記なき記号は下記による。			
記 号	名 称		備 考
	電灯動力壁		
	電灯壁		
① 2	コンセント-壁付	2P15A×2	
① EET	コンセント-壁付	2P15A×1 EET付	
① 2EET	コンセント-壁付	2P15A×2 EET付	
① EW	コンセント-壁付	2P15A×1 ET付	電気温水器用
① IH	コンセント-壁付	2P15A×2 E付100V	IHクッキングヒーター用
① E.WP	防滴コンセント-壁付	2P15A×2 EET付 フル接地防水ダクト	
4E①	ハネス用OAタップ 4ヶ口抜止接地付3m		
①	ハネス用ポイントボックス 2分岐送り付		
● ADSW	オート7用スイッチ		

【注記】
1. 配線は天井裏ころがしとし、P・S及び軽量鉄骨壁下地の立下げ部分はP・F管にて保護すること。（立下露出部は金属線びにて保護する）
2. 配線の接続はジョイントボックスを設けること。



2 階 平 面 図 1/100



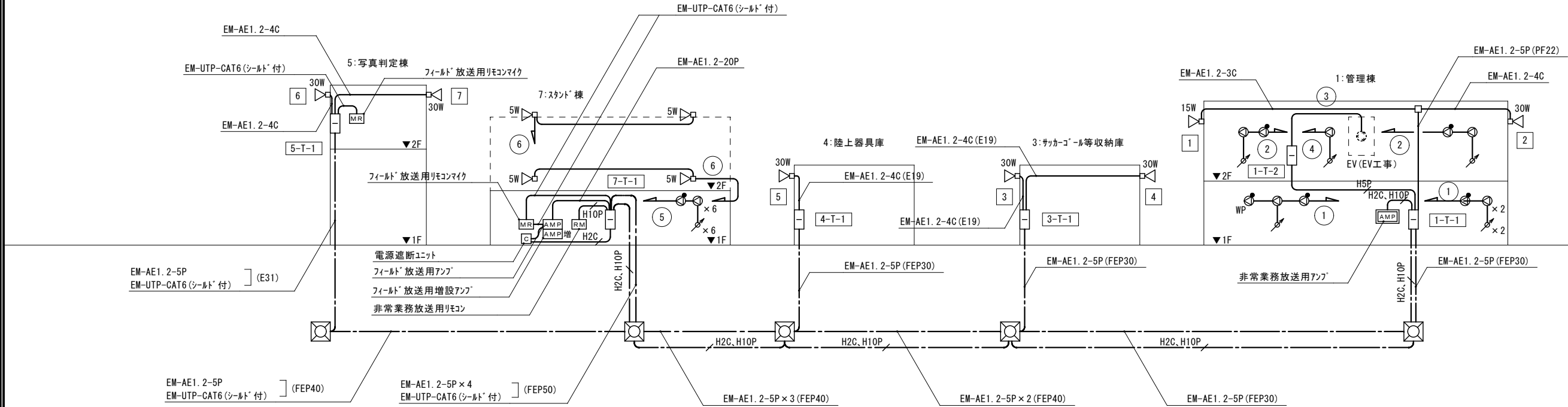
1 階 平 面 図 1/100

特記なき配線は下記による。		
2.0	EM-EEF2.0-3C(1C:E) (PF22)	
UTP	EM-UTPCAT6 (PF16)	LAN
TEL	空配管 (PF22)	TEL
AE	EM-AE1.2-2C (PF16)	トイレ呼出・ドアホン
AE	EM-AE1.2-4C (PF16)	トイレ呼出
FCPEE	EM-FCPEE0.9-5P (PF16)	EVインターホン
TIEF	EM-TIEF0.65-4C (PF16)	EV遠隔監視
	(FEP30)	

特記なき記号は下記による。		
記 号	名 称	備 考
電灯動力壁	電灯動力壁	
分電盤	分電盤	
端子盤	端子盤	
別途制御盤	別途制御盤	
情報用アクトレット壁付	情報用アクトレット壁付	
情報用アクトレット二重床用	情報用アクトレット二重床用	
電話用アクトレット二重床用	電話用アクトレット二重床用	
NC	ナースコール用受信壁-親機	
NC S	ナースコール用受信壁-副親機	
M	ナースコール押しボタン壁付	
◎	ドアホン-親機	
⊙	ドアホン	
⊠	ハンドヘルド HH : R8K-60.900×900×900	土木工事

【注記】
1. 配線は天井裏ころがしとし、P S 及び軽量鉄骨壁下地の立下げ部分は P F 管にて保護すること。（立下露出部は金属線びにて保護する）
2. 配線の接続はジョイントボックスを設けること。

特 記 事 項	意見を聞いた建築設備士：エーエフ環境技術オフィス 水谷浩（建築設備士 第28D1-0077MT号）			株式 会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図 水谷	工事名称 津市海浜公園内陸上競技場管理棟等増築その他工事	設計日
	一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	一級建築士 第378328号 加藤 早妃			一級建築士 第360917号 前田 祐作								
	縮 尺 A2:1/100 A3:1/141					図面番号 E015 (原図:A2)								
	【①管理棟】弱电設備 1階平面図、2階平面図													



拡声設備 系統図 ※HH間の配管は土木工事

特記なき配線は下記による。	
	EM-HP1. 2-3C (PF16)
	EM-HP1. 2-2C (カトリレ用)
	EM-HP1. 2-5P (PF22)
	EM-HP1. 2-10P (PF28)
	EM-HP1. 2-10P (FEP30)

特記なき記号は下記による。		
記 号	名 称	備 考
	端子盤	
	非常業務放送用アンプ	非常業務放送
	非常業務放送用リモコン	非常業務放送
	スピーカー	非常業務放送
	スピーカーアッテネータ付	非常業務放送
	スピーカーアッテネータ付-防滴形	非常業務放送
	スピーカーホーン形	非常業務放送
	アッテネータ	非常業務放送
	電源遮断ユニット	非常業務放送
	フィールド放送用アンプ: 240W	フィールド放送
	フィールド放送用増設アンプ: 120W	フィールド放送
	フィールド放送用リモコンマイク	フィールド放送
	スリムスピーカー	フィールド放送
	スピーカーホーン形	フィールド放送
	マンホール又はハンドホール	

- 【注記】
- 施工は現状を十分調査の上、配管配線及び機器の撤去を行うこと。
 - 配線は天井裏ころがしとし、PS及び軽量鉄骨壁下地の立下げ部分はPF管にて保護すること。
(立下露出部は金属線びにて保護する)
 - 既設配線との接続はジョイントボックスを設けること。
 - コア抜配線箇所は壁とし、スリーブ開口はφ100未満
(間隔は4D以上確保)とし、鉄筋探索の上施工すること。
(コア抜は弱電含め最小限にとどめる)
 - 非常放送アンプは、専用電源とする。
 - 自動火災報知設備と連動させる。
 - 鳴動方式は一斉鳴動とする。
 - タイムアップは3分とする。
 - 管理棟とスタンド様のメッセージ内容を別とする。
「管理棟1階で・・・」「スタンド様で・・・」
 - フィールド放送用スピーカーは、フィールド放送用アンプで各回線ごとの音量調節を行う。
 - 放送設備を非常警報以外の目的と共用する場合は、非常時に自動的に非常警報以外の放送を停止できるようにする。
 - タイムアップは3分以内とする。
※現場確認者と防災むか等の監視者が確保され、現場確認者等から内線電話等により、現場確認の通報が当該防災むか等に伝達される体制が整っている場合は5分以内。
 - 非常放送設備のAMP及びスピーカーは、消防認定品とする。

【非常業務放送系統図】

No.	系統番号	棟	系統名称	
			階	名称 (放送エリア)
1	①	管理棟	1	1階
2	②	管理棟	2	2階
3	③	管理棟	1～2	EV
4	④	管理棟	1～2	階段
5	⑤	スタンド棟	1	1階
6	⑥	スタンド棟	2	2階 (スタンド)
7				予備
8				予備
9				予備
10				予備

系統番号					合計
①	3	2	1		
②	2	2			
③	1				
④	1				
⑤	6	1			
⑥				4	
計	13	5	1	20	39W
よって39W以上の90Wのアンプを設置する。					

【フィールド放送系統図】

No.	系統番号	棟	名称 (放送エリア)
1	1	管理棟	フィールド
2	2	管理棟	練習路
3	3	サッカーコート棟収納庫	フィールド
4	4	サッカーコート棟収納庫	フィールド
5	5	陸上器具庫	フィールド
6	6	写真判定棟	フィールド
7	7	写真判定棟	フィールド
8			予備
9			予備
10			予備
14			
15			

系統番号					合計
1	1				
2		1			
3		1			
4		1			
5		1			
6		1			
7		1			
計	15	180			195W
よって195W以上の(240W+120W)のアンプを設置する。					

参考機器姿図

非常業務放送設備

ブロック図

【管理棟】1階 事務室

緊急優先一斉
一斉
1
5
1
10 } ブロック
10 } 回線選択

SP 1
SP 10 } スピーカー回線出力
RB 非常制御

壁掛型業務放送装置
90W
10回線一斉

プログラム
タイマー

AC100V

壁掛型非常業務放送用アンプ

450
200
164.5

常用電源	AC100 V 50/60 Hz
非常電源	DC24 V 密閉型ニカド電池実装
定格出力	90 W
非常系統数	10 系統
入出力	音声入力×7、制御入力×27、制御出力×13
回線短絡保護	ヒューズレス方式
周波数特性	ライン：50 Hz～15 kHz
非常警報音	音声警報、4ヶ国語「日本語+英語+中国語+韓国語」に対応可
	中国語、韓国語対応には所轄消防署との協議必要
緊急放送	スイッチ×4（内蔵音源再生）
チャイム	上り4音、下り4音、2音、ゴングの4種類
仕上	ケース：鋼板 ライトアイボリー
その他	緊急地震放送法制化対応、一斉移行タイマー内蔵、自然空冷デジタルパワーアンプ採用、放送選択スイッチの設定の任意登録、セルフチェック機能、音声過入力リミット機能、出火警メッセージ：81種類（ソフトウェアで組合せ可）

参考品番：TOA FS10-910 相当品

壁掛型非常業務放送用リモコン

450
380
104.5

電源	DC24 V
出力制御	10局+10グループ（アサイン可能）、通常一斉、緊急一斉
液晶表示	16文字×2行 バックライト付
音声入力	マイク/ライン・ライン 各1
モニタースピーカー	内蔵、音量調節可能、ハウリング防止回路付
その他	フロントマイク（非常業務兼用）、音量調節可能

参考品番：TOA FS-1010RM 相当品

天井埋込型スピーカー（ATT無）

天井埋込型スピーカー（ATT付）

174
243
73

スピーカーユニット	16 cmコーン型
定格入力	6 W/3 W/1 W
出力音圧レベル	93 dB/W（1 m）
周波数特性	80 Hz～14 kHz
入カインピーダンス	1.7 kΩ/3.3 kΩ/10 kΩ
本体仕上	黒色モールド成型
パネル	アルミバテンチング
アッテネータ	4段階（大/中/小/切）

型式：SC6Hi-1V0-M、SC6Hi-1V3-M

防滴天井露出型スピーカー ATT付

174
243
73

定格入力	3 W（3.3 kΩ）、2 W（5 kΩ）、1 W（10 kΩ）
出力音圧レベル	94 dB（1 W、1 m）
周波数特性	160 Hz～16 kHz
スピーカー	防滴12 cmコーン型
仕上	ケース：樹脂 ライトグレー
音量調節器	5段切換
その他	防水性能：IPX4（天井（水平部）施工時）

参考品番：TOA PC-2238TWP 相当品

ホーンスピーカー

アッテネータ

172
126
188

定格入力	5 W（2 kΩ）、3 W（3.3 kΩ）、1 W（10 kΩ）
出力音圧レベル	106 dB（1 W、1 m）
周波数特性	400 Hz～10 kHz
その他	防塵・防水性能：IP65 ホーン色：オフホワイト

型式：SH-05

アッテネータ

70
120
31.8

入力容量	6 W（0.5 W～6 W適合）
入カインピーダンス	1.7 kΩ～20 kΩ
音量調節	5段階（OFF、-18、-12、-6、0 dB）

型式：V-1S

電源遮断ユニット

70
120
40.5

コンセント	AC100 V、50/60 Hz
電力容量	最大800 W
電流容量	最大10 A（ACアウトレット1個）
制御電源	DC24 V、10 mA（非常制御信号RB）
制御方法	RB端子0 Vで商用電源出力をOFF
表示灯（LED）	1（通常時：緑色点灯、非常時：消灯）
プレート	付

参考機器姿図

30W スリムスピーカー 30 W	15W ホーンスピーカー	AMP システムマネージメントアンプ	AMP 増 システムマネージメント増設アンプ																																																										
■仕様 <table><tr><td>定格入力</td><td>30 W</td></tr><tr><td>定格インピーダンス</td><td>330 Ω (30 W), 500 Ω (20 W), 1 kΩ (10 W)</td></tr><tr><td>出力音圧レベル</td><td>114 dB (1 W, 1 m換算値) (JIS C 5504)</td></tr><tr><td>周波数特性</td><td>390 Hz~12 kHz (JIS C 5504)</td></tr><tr><td>指向角</td><td>水平:約90°(2 kHz), 垂直:約20°(2 kHz)</td></tr><tr><td>使用スピーカー</td><td>ホーンスピーカー×4</td></tr><tr><td>使用温度範囲</td><td>-20℃~+55℃</td></tr><tr><td>保護等級</td><td>IPX5</td></tr><tr><td>その他</td><td>JIS C 5504 (ホーンスピーカー) に準じる</td></tr><tr><td>仕上</td><td>ケース : アルミ ライトグレー (マンセルN7, 0近似色) 粉体塗装 前面ネット : アルミ エキスパンドメタル 黒 (マンセルN1, 0近似色) 塗装 取付ボルト類 : ステンレス</td></tr><tr><td>寸法</td><td>167 (W) × 665 (H) × 140, 5 (D) mm (突起部を除く)</td></tr><tr><td>質量</td><td>8 kg</td></tr></table> ※スピーカー面は垂直または下向きに取り付けてください。 ※安全のため十分な落下防止対策を施し、必ず定期的に保守点検を実施してください。 ■外観図 167 上面図 182 側面図 140.5 正面図 144 背面図 4-M10 (L=33) スピーカー取付ボルト 33 306 3 2 1 4 1 赤 330 Ω (30 W) 2 黒 500 Ω (20 W) 3 青 1 kΩ (10 W) 4 白 COM 結線図 専用金具 (×2) Q-HA-1100A 0°~5° スピーカー スピーカーケーブル (×2) ボール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。 (ご注意) スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。 スピーカー取付例 ※()内は参考寸法値です。 【注記】 ・スピーカーは、取付金物で「水平方向0° ~90°」「垂直方向0° ~5°」の範囲で可動出来るものとし、 角度については監督員と協議の上決定とする。 ※スピーカー取付金具 : Q-HA-1100A × 2個 TOA HA-500MK2 相当品	定格入力	30 W	定格インピーダンス	330 Ω (30 W), 500 Ω (20 W), 1 kΩ (10 W)	出力音圧レベル	114 dB (1 W, 1 m換算値) (JIS C 5504)	周波数特性	390 Hz~12 kHz (JIS C 5504)	指向角	水平:約90°(2 kHz), 垂直:約20°(2 kHz)	使用スピーカー	ホーンスピーカー×4	使用温度範囲	-20℃~+55℃	保護等級	IPX5	その他	JIS C 5504 (ホーンスピーカー) に準じる	仕上	ケース : アルミ ライトグレー (マンセルN7, 0近似色) 粉体塗装 前面ネット : アルミ エキスパンドメタル 黒 (マンセルN1, 0近似色) 塗装 取付ボルト類 : ステンレス	寸法	167 (W) × 665 (H) × 140, 5 (D) mm (突起部を除く)	質量	8 kg	L級 285 227 277 ※スピーカー取付金具 : SP-301 <table><tr><td>定格入力</td><td>15 W (670 Ω), 10 W (1 kΩ), 5 W (2 kΩ), 3 W (3, 3 kΩ)</td></tr><tr><td>出力音圧レベル</td><td>109 dB (1 W, 1 m)</td></tr><tr><td>周波数特性</td><td>315 Hz~9 kHz</td></tr><tr><td>その他</td><td>防水性能 : IP65 ホーン色 : オフホワイト</td></tr></table> 型式 : SH-15	定格入力	15 W (670 Ω), 10 W (1 kΩ), 5 W (2 kΩ), 3 W (3, 3 kΩ)	出力音圧レベル	109 dB (1 W, 1 m)	周波数特性	315 Hz~9 kHz	その他	防水性能 : IP65 ホーン色 : オフホワイト	AMP TOA VM-2240 相当品 <table><tr><td>電源</td><td>AC100 V 50/60 Hz、DC24 V</td></tr><tr><td>定格出力</td><td>240 W</td></tr><tr><td>入力</td><td>入力×3 (マイク、ライン切換)、BGM×2、緊急ページング他</td></tr><tr><td>出力</td><td>録音、ライン、プリ、スピーカー</td></tr><tr><td>回線選択キー</td><td>5局十ヶ (個別放送が可能)</td></tr><tr><td>制御入力</td><td>制御入力×3、電源制御、チャイム制御</td></tr><tr><td>機能</td><td>回線音量調節、内蔵チャイム×4、2台目増設、優先制御</td></tr></table>	電源	AC100 V 50/60 Hz、DC24 V	定格出力	240 W	入力	入力×3 (マイク、ライン切換)、BGM×2、緊急ページング他	出力	録音、ライン、プリ、スピーカー	回線選択キー	5局十ヶ (個別放送が可能)	制御入力	制御入力×3、電源制御、チャイム制御	機能	回線音量調節、内蔵チャイム×4、2台目増設、優先制御	AMP 増 TOA VM-2120E 相当品 <table><tr><td>電源</td><td>AC100 V 50/60 Hz、DC24 V</td></tr><tr><td>定格出力</td><td>120 W</td></tr><tr><td>入力</td><td>パワーアンプ</td></tr><tr><td>出力</td><td>スピーカー</td></tr><tr><td>回線選択キー</td><td>5局十ヶ (個別放送が可能)</td></tr><tr><td>制御入力</td><td>電源制御</td></tr></table>	電源	AC100 V 50/60 Hz、DC24 V	定格出力	120 W	入力	パワーアンプ	出力	スピーカー	回線選択キー	5局十ヶ (個別放送が可能)	制御入力	電源制御
定格入力	30 W																																																												
定格インピーダンス	330 Ω (30 W), 500 Ω (20 W), 1 kΩ (10 W)																																																												
出力音圧レベル	114 dB (1 W, 1 m換算値) (JIS C 5504)																																																												
周波数特性	390 Hz~12 kHz (JIS C 5504)																																																												
指向角	水平:約90°(2 kHz), 垂直:約20°(2 kHz)																																																												
使用スピーカー	ホーンスピーカー×4																																																												
使用温度範囲	-20℃~+55℃																																																												
保護等級	IPX5																																																												
その他	JIS C 5504 (ホーンスピーカー) に準じる																																																												
仕上	ケース : アルミ ライトグレー (マンセルN7, 0近似色) 粉体塗装 前面ネット : アルミ エキスパンドメタル 黒 (マンセルN1, 0近似色) 塗装 取付ボルト類 : ステンレス																																																												
寸法	167 (W) × 665 (H) × 140, 5 (D) mm (突起部を除く)																																																												
質量	8 kg																																																												
定格入力	15 W (670 Ω), 10 W (1 kΩ), 5 W (2 kΩ), 3 W (3, 3 kΩ)																																																												
出力音圧レベル	109 dB (1 W, 1 m)																																																												
周波数特性	315 Hz~9 kHz																																																												
その他	防水性能 : IP65 ホーン色 : オフホワイト																																																												
電源	AC100 V 50/60 Hz、DC24 V																																																												
定格出力	240 W																																																												
入力	入力×3 (マイク、ライン切換)、BGM×2、緊急ページング他																																																												
出力	録音、ライン、プリ、スピーカー																																																												
回線選択キー	5局十ヶ (個別放送が可能)																																																												
制御入力	制御入力×3、電源制御、チャイム制御																																																												
機能	回線音量調節、内蔵チャイム×4、2台目増設、優先制御																																																												
電源	AC100 V 50/60 Hz、DC24 V																																																												
定格出力	120 W																																																												
入力	パワーアンプ																																																												
出力	スピーカー																																																												
回線選択キー	5局十ヶ (個別放送が可能)																																																												
制御入力	電源制御																																																												